（日刊）（第三種郵便物認可）（明治四十八年十月二十五日）昭和四年十二月二十六日 THE MANSHU NIPPO （木曜日） 第八千四百八十九號 （一）

夕刊 滿洲日報 十二月廿五日

兩國全權間に調印せる 露支和平議定書の内容

勞農全權の强硬なる態度に 支那側の遷延策敗る

【ハルビン特電二十五日發】露支停戰會議は去る十四日から哈府に於て蔡、シマノフスキー兩全權間に交渉進行し十九日大體の協定は成立し一、二の難點を殘し調印の間際までこぎつけたところ、蔡全權は

余は貴國政府の希望條件を聽き全てを正式會議によつて解決するやう訓令を受けおれば細目に亘る内容を含む今回の條件に對し調印し難し

と最後のどたん場において婉曲に支那式外交を以て遷延策をとり正式會議を口實に二十日哈府を出發せんとした所、シマノフスキー全權は

貴全權は本議定書に調印することに同意を與へ直に効力を保有すべきである、もし之を諒容せぬならばロシア政府は直に第二の軍事行動に移るの餘儀なきを措置とする

旨を宣告し威嚇したが交渉は一時停頓し哈府と奉天との聯絡電話は中絶するに至り遂に二十二日豫備會議議定書に調印するに至つたと傳へらる、議定書の内容は

一、支那政府は七月十日前の東支原状回復を承認し
二、新任正副管理局長ルーデイ、デニソフをロシアの推薦に同意すること
三、拘禁者の釋放は双務的としロシアは支那軍を國境外に送り支那は政治犯罪者と其他に區分し政治犯は國境外に押送す
四、軍隊は國境三十支里外に撤退するに同意す
五、露支兩國政府は國家の代表機關として領事館の絶對權を承認し現に閉鎖中の露支領事館の復活、ロシアの國營機關開設を認め、ロシアはロシア領内における支那諸民團の自由を許し、支那は東支のロシア勞働組合を認む
六、兩國軍隊の國境三十支里外の撤退
七、一月廿五日までに兩國全權を決定するに同意す
八、白系ロシヤ人の支那官憲に採用さるるものにして露支紛爭の工作に關係したものの解雇を要求す
九、七月十日以後、東支鐵道に採用せし露人を罷免すべし
七、東支鐵道從業員の歸國したもの又は拘禁されたものの復職を認め七月十日以後の給料を支拂ふ
十一、時局損害賠償は調査委員を組織して決す
十二、右全文は兩國全權の調印により効力を有することに同意す

とこれによつて六ケ月間紛爭を續けた東支鐵道問題は曲りなりにも解決した

東鐵幹部の辭任 露支數十名に上る見込

【ハルビン特電二十五日發】東支鐵道管理局にては二十四日范其光氏以下各科處長會議を開きハバロフスクの交渉は成立し東支管理局長の辭任を見れば露支議定書の精神により七月十日以後のものは辭任し若し此際ロシア人にして無國籍人たると支那國籍を取得したもので自ら辭職せんとするものには退職手當を支給する旨を決定した露支幹部で辭職するものは數十名に達する由

公報未着 ドイツ總領事談

【ハルビン特電二十五日發】二十二日ハバロフスクにおいて調印された議定書に對しストッペドイツ總領事は

未だ正式の公報に接せず且つ拘禁者の釋放につき何ら支那側より交渉なし

と

露總領事等 近く赴哈

【ハルビン特電二十四日發】蔡全權の歸哈の際、メリニコフ勞露總領事とコーコリン氏らが來哈する筈

東鐵理事に ダ氏復任決定

【ハルビン特電二十五日發】大連に滯在中のダニレケスキー氏は東鐵理事に復任するに決し招電された

英米兩國も 嚴重交渉 投資損害甚大

【ハルビン特電二十五日發】海拉爾、滿洲里に於ける英、米の投資は相當巨額に達し若し此際依然として同地の狀況が不明の場合は英米、佛總領事としても責任があるので何とか第二段の方法が講ぜられる模樣であるが、英、米保險會社方面の滿洲里、海拉爾方面に契約された總額は約五百萬元に達し米國は興業銀行を通じ海拉爾には蒙古貿易公司あり一千萬元程度の投資額を有するので非常に心配されてゐる、支那側は軍隊の興安嶺撤退後赤軍指揮のもとに掠奪されたと報じてゐるが、支那軍が退却する時に掠奪したものだとの説が強く、愈々海拉爾との聯絡がつき果して掠奪の如く掠奪をされてをれば調査の結果により賠償を支那側に交渉する方針であると

議會守衛に訓示

第五十七議會の召集を前に二十一日正午貴族院前に守衛一同を集めて石橋守衛長より一場の訓示を與へた

一方的に治廢せば 戰爭をも辭せぬ

日英米佛の態度强硬

【北平廿四日發電】治外法權の一方的撤廢は茲一週間に迫つたが之に對する列國側の準備を見るに該宣言に於て多少實行性ある漸進的撤廢案を附し一二小國の贊同を得る事あるにせよ日英米佛等の主要國は一方的撤廢そのものを頭から問題にせず萬一支那側が單獨撤廢を執拗に迫るに於ては戰爭行爲に移るも已むを得ないと强硬なる態度を持して居るので治外法權撤廢宣言も何等影響なき叫びに終るものと樂觀してゐる

堀切さんの議長振 顏を紅くして イタにつかぬ

【東京特電二十四日發】中村書記官長に伴はれた堀切新議長が演壇に現はれた刹那、民政、政友の議席を通じて議場に爆破のやうな拍手が爆發した▲偉大なる體軀をフロックに包んで堀切さんは顏を紅にして處女のやうに含羞みながらピヨコンと叩頭を一ツやつて、ポケットから辭令を取出す、やがて議長席で議長の椅子に腰を下すによつて祝辭を述べる間、彼は小學生のやうに耳の附根まで眞紅にして行儀良く起つてゐた▲さて初の議事…騷ぎで議長また叩頭をやつた、前議會議事堂の、小秀員長も柴田三段の猛者も、此の處だけは可愛らしい堀切さんだ、高木正年老が恒例の…段々となつた、深々とドウかとばかり腰を下すかと思ひきや、二分の一あたりの處に遠慮しい／＼そうと腰を下したものだ、あの大きな體軀が半分ほど椅子から喰み出してゐる譯の紅味はどうやら收まつたが、遣り場に困つた双手は機をつまんだりズボンを撫つたり机の羅紗を撫てみたり不器に無體をやつてゐる▲「我々の若き議長として新時代の人氣を背負つて立つた堀切さん、なか／＼紳士に俯かぬ禮を堅ち抜ひ兼ねながら萬事慣らの中村書記官長と相識しい／＼目出度く初日の打を納めあげた（前議員は堀切さん）

地中海保障條約 締結に贊成

伊の對佛回答内容

【パリー二十四日發電】フランス外相ブリアン氏の海軍問題覺書に對する二十一日附イタリー政府の回答要旨は左の如くである

一、列國の保有すべき海軍最小噸數は各國々防上の第一義的必要に基き算出すべしとのフランスの主張に對しイタリーは抗爭せず

二、イタリーは地中海保障條約の締結に贊成する、但し右條約は佛、伊、英三國間の交渉に依り締結し、スペインに提示して署名を求めて後、地中海に利害關係を有する各國に送附して批准を受くべし

三、アフリカの佛領ツニシアに在るイタリー人保護問題、リビア國境協定等についてはイタリーは伊、佛兩國間の直接交渉に依り解決するを希望する

若槻全權 ス長官より答電

【ワシントン二十三日發電】國務長官スチムソン氏はオリムピック號で大西洋航行中の若槻全權に無電を以て余並にフーバー大統領は當地で行つた商議に滿足し尚其際の率直な意見交換が多大の利益を齎した事を信ずると述べて若槻全權の謝電に對する答電を發した

新事業計畫よりも 先づ調査が肝要だ

政界とは三年前縁を切つたよ

けさ入京の 仙石總裁語る

【東京特電二十五日發】仙石滿鐵總裁は鐵道秘書帶同廿五日午前七時廿五分東京驛着列車にて着京した、驛頭には朝野の名士多數出迎へ、總裁は直に麻布の私邸に入つたが目下中央政界では所謂解散運動について仙石總裁は相當諒解あるものゝ如く場合によつては濱口首相に之を進言するに非ずやと噂されてをるだけに同總裁の上京は各方面の注目を惹いてゐる、總裁は途中國府津迄出迎へた本社記者と左の如き問答を交はした

記者 色々お土産話があると思ひますが

總裁 無いな、何しろ二ケ月ばかり滿洲にゐたばかりだから

記者 面白い話はありませぬか

總裁 面白い話なんかない、それよりも昨今の世相は悲しいことばかりぢやないか

記者 二ケ月を滿洲に居られたのだから何か新しい計畫があるでせう

總裁 計畫よりも先づ調査だ、滿洲や滿鐵のことを知るばかりでも大變だが實際に當つて調査の出來ないことが澤山あるよ

記者 昭和製鋼所の問題はどうなります

總裁 之もまだ調査を要する點が多い、例へば原鑛石の問題でも四億噸はあるといはれてゐたが今日迄實際に調査の出來てゐるのはまだ二億噸に過ぎない、それ以上の事は果してどの位あるのやら、無いのやらハッキリ調査は出來ないネ

記者 さうすると直ぐには實現出來ぬといふのですか

總裁 そんなことはいへぬ、愈やるか、やらぬかといふことは大株主たる政府其他とよく相談した上でないと判らぬ、故に今度は相談して見る積りだ

記者 二億噸しか無いとすると計畫半減といふことになりますか

總裁 さう簡單に定めてかゝるべきものぢやない

記者 職制改革問題は如何です

總裁 之も尚調査を要する、よく調査した上でハッキリしたことを定める

記者 吉會鐵道その他の鐵道敷設の問題は

總裁 餘所の國のことだ深切の押賣りはいかん、いくら双方のためだといつても無理に强ゆべきことぢやない、おかしな譬へだが若し女を口説くのに無理强いをして見給へ、振られるに極つてるさ、こんなことは向ふに氣がある、こつちにも氣がある、そこで何かの切つ懸けに情意投合するより外はないではないか

記者 滿鐵豫算は大體、前年度の踏襲で別に緊縮もしないやうですネ

總裁 政府の豫算などとは譯が違ふ、まあ現狀のままやらせて見るといふだけのことサ

記者 露支紛爭のお蔭で滿鐵の收入が大變增したやうですネ

總裁 なに大したことでもないサ餘所の國のドサクサ紛れに儲けたからといつて滿鐵の誇りでも何でもない

記者 張學良氏が何か日本側の投資について滿鐵に話があつたやうですが？

總裁 投資を申込んだのではない日本の實業家と懇談したいといふので滿鐵公所に斡旋方を賴んだのだ

記者 總裁は議會の解散問題について何か御意見があるとの噂ですが？

總裁 政界とは三年前に縁が切れてる今まで滿洲に居たんだから政府のことなんか分らんヨまた一切ふれもしないヨ

記者 でも政治問題では觸れたちやありませんか

總裁 ありや單なる政治問題ぢやないサ

記者 解散問題についてはどんな御意見ですか

總裁 曰く我不關焉サ

記者 解散した方がいいとふのでもありませんか

總裁 俺には分らん、分らんだが金の準備はあるかネ

記者 朝野兩黨とも金がないから問題ぢやありませんか

總裁 金がなければ仕方がないネそれはそうと東馬（久須美）はとんだことになつたネ

この時、汽車は東京驛に着いた

學位問題は 來年三月に解決

稻葉醫大學長歸來談

【奉天特電二十四日發】稻葉醫大學長は學位問題で上京し文部省當局と打合せをなし此程歸奉したが同氏は左の如く語つた

上京するや否や文部大臣は更迭するし拓務省も設置されたばかりで内部の諸事務の整理に追はれ、議會も開會前となつてゐたので各方面とも多忙を極めてゐたが、その間直接面談し打合せをなした結果文部省當局も非常に諒解して呉れた、たゞ懸案となつてゐるのは文部省令の決議による學位は學位を授與する大學に認可權を與へ、その大學で學位を認可すれば文部大臣にはその報告のみで濟むといふ案を一旦解決した後植民地における大學の學位問題を解決しやうと云ふのが文部省としての意嚮であつたらしいが、滿洲醫大としては現行規定即ち大學に於て學位授與に決定したものを更に文部省で認可する方法によつてでも解決を急ぐやうに申請した處、文部省でも之を諒としその解決を急ぐこととなつた、之がため遲くとも明春三月までには解決を見るやうにならうと思つてゐる

輸出入制限廢止

明年より効力發生

【ジュネーヴ二十四日發電】國際聯盟の輸出入制限廢止の協定は全部の調印終り日本其他十六國間に明年一月一日より有効となつた

荻川放談 (137)

安協（其三）

露支抗爭解決も愈々本筋に入つたらしいが、そのすべての解決は、來年一月廿五日を期して、モスクワで開かるゝ露支會議に待たねばならぬとあつては、露支のことである、相互が御々に駄々を捏ねて、容易にそれが纏まりさうもない心持もするが、ざるに似る、どうか一日も速に纏まりとて此處に達したは、遲せ兩國が打解けて、北滿洲に平和の來るを望む、更に進んでは、今度のことなんぞからして、國際に駄々は愼と惜つて、兩國が列國に向つても爾來駄々を捏ねないようにして欲しい、乃ち正々堂々である、之に何者か辭すべき。

◇

東洋の平和を希求する日本は、此正々堂々に組せんとす、どうだ支那と云はず、ロシアと云はず、其正々堂々で日本と提攜し東洋の平和を維持せんとする眞心はなきか、此眞心だにあらば東支鐵に抗爭が起らぬのみか、邊疆で啀み合ふ必要とてない、熟々思考するに、露支間の平和は東支鐵問題に繋がるばかりと信ぜられずして、淵源は寧ろ邊疆に伏在す、差し當り蒙古問題がそれである、終には之が新疆なぞに波及すべし、而も今日此問題に達せざるは、露國革命に比べて、支那革命の擴大に續まらないからじや。

◇

露國も支那も新しき改革國なるが、露國は其革命の精神たる世界の赤化を、完全とは云へないが、少しぐらゐは實行し得べき程度に進んだ、外蒙古の赤化なんぞが乃ちそれで、此赤化は露國の國體が動揺するところを狙つて潜り込む、然るに支那の革命は國體恢復を標榜するに拘らず、其革命が擬らぬだけに、其國體恢復も皮相に走つて、肝腎の要點に手が屆かず、外蒙古の赤化を眺めて徒らに眼をするとも氣の毒だが、されば云つて、國體恢復なる支那革命は何處々々までも進んで擬るところに達せずんば止まざるべし、こゝに露支の眞劍衝突が想はれる

◇

革命の過渡期に於て曾ては露國の赤化を崇めると見せ、それから資金を總つて對黨を興えんとした、横着な支那の大政治家もあつた、赤露國赤化勢力の外蒙古に延ぶるを認め、それが支持で、自己の權威を守内に據めんとした、粗暴な支那の大軍閥家もあつて、國體恢復を標榜する支那革命に、國體恢復を招來すまいかと憂ひられしも、今はどうやら革命の立物たる支那の政客軍人輩間に斯る錯誤は一掃され、そうして寧ろ此邊疆問題に焦慮するものを生じたるが如し、東北四省官憲なぞがそれである。

無稅減稅種目

關稅調査會審議

【東京二十四日發電】現内閣の下に於ける第一回關稅調査會は二十四日午後一時半より首相官邸に開會井上藏相以下大藏、商工、農林、外務、拓務各省關係官其他委員、幹事出席、井上會長の挨拶の後左の諸問事項を提出説明し今後幹事會に於て調査することゝして三時半散會した

諸問事項第六號

左記關稅審議會答申の事項に關する具體案如何

一、綿織糸、約三割五分の輕減
一、ミュール其他特殊の我國に生産せられざる物は無稅
二、鐵錫及鐵管無稅
三、生糸屑東糸無稅
四、牛肉無稅
五、高粱無稅
六、セメント半減

關東廳辭令（廿四日附）

關東廳理事官 本庄宗三
關東廳事賣局理事官 井上勇
依願免本官（各通）
關東廳屬 平井齊三
命普蘭店民政支署長事務取扱

人事

▲庵谷忱氏（奉天商工會議所會頭）ツネ子夫人同伴廿五日入港のうらる丸にて歸滿
▲小川順之助氏（關東拓殖課長）同上歸任
▲佐藤勇助氏（關東倉庫主計正）同上歸任
▲志賀直哉氏（創作家）同上來連
▲里見弴氏（創作家）同上
▲値賀連氏（辯護士）同上歸連
▲井上輝夫氏（滿洲製麻會社專務）同上
▲大津義雄氏（遞信局經理課長）同上

大觀小觀

市長問題、圓滿解決と、急轉直下することになる。石本さんも野暮はいはぬ老人だ。

◇

善處は善處。面子は面子。

◇

關東廳の大地震、右遷、左遷、さま／＼ならんもサク／＼の好評とある。

◇

だが、要は官場氣分の緊張一新にあり。

◇

王正廷氏、時々一方的の手形を振出す。危險、危險、治廢手形、不渡にならずば幸ひ。

◇

今二十五日、多摩陵の御三年祭と現し。

◇

明二十六日、第五十七議會は開會さる。雨か風か。天機は漏らすべからずか。

天氣豫報

廿七日 南西の風晴れ後曇り

各地溫度

	昨日最低	十一時
大連	零下九、九	一、六
旅順	同 九、七	一、六
營口	同 一九、〇	零下一一、二
奉天	同 二〇、五	同 二二、九
長春	同 二五、六	同 一八、七

大正天皇祭遙拜式
大連神社において嚴に

大連における大正天皇祭遙拜式は二十五日午前十時より大連神社において擧行された、先づ祭員の修祓あり、水野社司恭々しく遙拜の辭を奏し玉串を奉奠して禮拜、次で祭員一同拜禮し、大連民政署長代理高田庶務課長、石本大連市長、滿鐵總裁代理齋藤理事の順序で玉串を奉奠し、更に參拜者一同の玉串奉奠と禮拜ありて十時半式を終つた

天皇陛下親しく多摩陵に御參拜
＝今日嚴かに行はせられた＝
先帝御三年式年祭

【東京廿五日發電】大正天皇の英靈鎭しく多摩の御陵に鎭まりましてより三年、今日思出深き御三年式年祭の儀が皇靈殿と多摩陵とに於て嚴かに行はせられた、此の朝多摩の神域の邊り淺黄の幔幕が張り巡らされ參道の打水の跡もすが〳〵しく

陛下の着御を 待ち奉る、午前九時御陵總門外には儀仗の甲府四十九聯隊の一個中隊が整列し、午前九時五十分高松宮殿下を初め奉り梨本宮、同妃、北白川宮妃、竹田宮妃、閑院宮春仁王同妃、李王、同妃の各皇族殿下、大勳位總代山本伯、濱口首相、倉富樞府議長、牧野內府、元帥總代上原元帥、國務大臣總代松田拓相、前官禮遇總代清浦伯、樞府顧問官總代黑田長成侯、海軍大將總代岡田啓介大將、陸軍大將總代井上幾太郎大將其の他各廳勅奏任官總代等文武顯官六十五名いづれも大禮服又は正裝にて參列、十時本多掌典次長は神饌を供し恭々しく

神前に祝詞を 奏し奉る、此の朝八時五十分大元帥の御正裝を召されて宮城御出門の天皇陛下は宮廷列車にて十時十五分東淺川驛に御着車、自動車鹵簿で陵所に成らせられた、斯くて御陵所に着御の陛下は林式部長官、一木宮相の御先行、鈴木侍從長以下供奉にて御拜所に出御靜かに先帝の御靈前に玉串を献ぜられ御告文を奏せられ、次で皇太后陛下の御名代として朝香宮妃允子內親王殿下の御拜禮あり、參列各皇族殿下、文武官の拜禮あり、天皇陛下は十時五十分御陵御發十一時東淺川驛御發、午後零時十分原宿驛御着車宮城に還幸あらせられた

皇靈殿の御儀
秩父宮殿下御代拜

【東京二十五日發電】御三年式年祭皇靈殿の儀は宮中賢所に於て嚴かに行はれ、十時天皇陛下御名代秩父宮殿下衣冠單衣の御裝束にて神前に參進御代拜を奉仕遊ばされ、夕刻よりは皇靈殿御神樂の御儀あり、陛下綾綺殿に出御御拜あり夜もたけて御儀を終らせらる

日本全國に於ける失業者が三十萬人
十月一日內務省社會局の調査

【東京二十五日發電】內務省社會局調査に依れば十月一日現在失業者總數は二十九萬二千三百二十四名で內譯は給料生活者六萬二千五百五十名、日傭勞働者十萬七千六百二十二名、其の他十二萬二千百五十二名である

支那遊廓を探險したい
我が文壇の重鎭たる 里見志賀兩氏來連

豫々來滿を傳へられて居た我國文壇の重鎭里見弴、志賀直哉の兩氏は滿鐵鐵道部の招聘に依り二十五日入港のうらる丸にて飄然やつて來たが、小柄な里見氏は洋服姿で志賀氏は和服の着流しに深山の湖水の樣な落着いた眼光を湛へてスモーキングルームにて交々語る 一個月の豫定で前途は朝鮮を廻り

滿鮮各地を 巡遊するつもりですが、一ケ月ではハルビン邊り迄行きます、一ケ月では短かすぎるでせうか、兩人共滿洲は初めてですが以前里見君が武雄君等一行の滿鮮旅行談もあり、行かう〳〵と思ひ乍ら遷延してゐたのを此機會を利して面倒臭がりの志賀を誘つてやつと來たのですがこちらでの行動は一切人任せで着いて見た上でなければ大連に何日滯在するかも分りません、但し一切講演等しない事は最初からの約束で來たのですから唯ブラリと滿鮮を廻て廻るだけです

里見氏に本年に於ける文壇の

著しい傾向 は、と問へば

僕は此頃本を讀まないのでよく分りませんが矢張り新興プロレタリヤ文學の發達した事でせう併し各新舊文壇の對立云々と言つても結局是も着物の流行の樣なもので、幾分時勢に追從する嫌があるが、着物の模樣、柄が幾ら變つても畢竟羅紗地を使ふと迄行かないと同樣に、文藝評論の立場から言つても文學の評價立脚點が急に變るものではないと思ふ、まあ旅行の閑々には支那の遊廓なぞも大いに探險してみやうと思ひますが、私は旅行記を時事新報に送るつもりです

志賀も一緒 に同紙に書くでせう

志賀氏は話を繼いで

大連も仲々暖いですね、內地の一樣の和服で來たのだし、途中服を揃へてお土産傍々旅行服にします

と出迎への人に支那服注文を依頼してゐた(寫眞はうらる丸上の兩氏)

御眞影を捧持
小川殖産課長歸へる

豫て上京中の小川殖産課長は敎育勅語謄本、旅順師範學校、專門學校、旅順新市小學校、長春西廣場小學校に御下賜さるべき御眞影を捧持して廿五日入港のうらる丸にて歸任したが、埠頭には須藤憲兵分隊長日下憲兵隊、警官の護衛の下に關東廳より目下文書課長出迎へ御眞影を受け繼いだ、小川氏は語る

大連漁港問題も歸つた上でないと私に具體案があるわけでなし今何にも分りません、孰れ事情を調査した上具體案を考へます

深刻な不景氣に緊縮も徹底
庵谷奉天會頭の內地土産談

全國商工會議所會議に出席の爲め上京中の奉天商工會議所會頭庵谷忱氏は二十五日入港のうらる丸にて歸來したが船中にて語る 會議に關しては先に歸つた篠崎君から聞いたらうが今度滯京中松田拓相に二、三度面會し支那側の

混商妨害 に就いては數時間に亘つて懇談し金解禁となつた曉の貸借の關係から言つても大いに考慮すべき事だと意見を申上げておいたが拓相も熱心に小坂政務次官、武富參與官等と共に聽取されました、製鋼所問題は私は一切觸れなかつたので分りません、年末を控えて內地の

不況風は 可成り深刻でお膝元の關係もあらうが東京に於ける緊縮振りは滿洲等より一層徹底してゐる樣です

高等小學教科書に誤謬がある
土崎商業教諭が發見

【秋田廿五日發電】秋田土崎商業學校教諭野尻百助氏は文部省編纂の昨年九月十九日改訂された小學校高等科三學年用讀本下卷第十課「大日本史の編纂」の文中第五十四頁に誤りある事を發見之れを發表した、即ち同文中國史編纂の困難な事業に生涯を捧げた幾多學者中の功勞者として安積艮齋、中村篁溪、栗山潛鋒、三宅觀瀾、栗田寬氏等を擧げて居るが、艮齋は天明から萬延年間の學者で同史編纂の初期より數ふれば百年も後の學者であつて、之れは明かに澹泊の誤りであると云ふので、篁溪等は正保から正德時代の人である、右の文は出所を明記してないから文部省編纂員の編纂に係るもので右の誤りは全く文部省の失態である

少女間で大評判 ▲新案双六▲面白い家族合せ▲珍しいお年玉▲ペン習字繪本▲少女畫讀＝五大附錄のついた『少女倶樂部』新年號、安い〳〵早く御申込！

小橋前文相召喚さる
參考人として

【東京二十五日發電】二十五日午前十一時小橋一太氏は兩角豫審判事の召喚に依り檢事局に出頭したが、右は私鐵事件の久須美、佐竹兩氏の參考人である

故ルーベー氏
遺骸埋葬さる

【パリー二十四日發電】フランスの元大統領ルーベー氏の遺骸は陸軍の儀禮を以てリマール山に埋葬された、なほ上院は本日閉會前ドーメル議長はルーベー氏の演說をなした

中等學校の武道科
正科になる

文部省では柔劍道等武術の振興に關しても一般體育運動の問題と共に熱心に之れを唱導しつゝあるが武術振興の第一步として現在中等學校における武術が隨意科として强制的科目となつてをらぬに鑑み之を正科に改正する事とし、近く體育運動審議會にも諮り委員會を設置して調査研究に着手せしめる方針であるが、武術を正科にせよとの主張は關係當局關係方面はもとより田中內閣當時に於ても中學敎育改善案の中にも之れを主張して來てをり、近くは前小橋文相の體育運動振興方針と相俟つて大麻文部參與官等の間に熱烈に之が唱道され現在では既に確定的方針となつてゐる(東京特信)

市民に深く感謝
＝榮轉に際して＝
高山大連署長語る

安東警察署長に轉勤を命ぜられた高山大連警察署長は大連、旅順、貔子窩各署長に歷任した人で關東廳管下に於ける名署長として知られてゐるが、州外轉勤は最初だけに勿論安東も處女地である、大連の任期は一年半の短時日であつたが重大犯罪續發の跡を受けて就任した氏の最初の立場も苦かつたらう、けれど氏の不拔な努力は單なる一年半で大連をして全く平和境たらしめたことは大連市民の最も感謝してゐるところである、轉勤の報を聞いて署長を訪へば

いろ〳〵とお世話になりました在任一年半大過なくして來たことは市民各位の御援助と御指導の賜と深く感謝してゐる、署內からも三四榮轉者があるので喜んでゐるが、犯罪の檢擧に、交通の整理に、防犯に警察の機能を署員が一致團結してそれ〳〵發揮して呉れたことも自分としては忘れ得ないことである、州外轉勤は最初だが今後ともよろしくお願申上げたい

內に氏は三十日頃大連出發の豫定だと

二名窒死
無思慮の苦力

大連市初音町一六六番地元陝西省々長陳退思方苦力趙業禮(三〇)及馬貴廣(二九)の兩名は、二十四日夜三疊位の部屋にコークスを焚き煖をとりながら就寢したが、室內が密閉されてゐたゝめ窒息死亡してゐたのを二十五日午前七時頃發見死體は大連署の檢視後家人に引渡した

樂しい歸省
男女學生達でうらる丸賑ふ

各大學專門學校も冬期休暇となり內地遊學中の學生も樂しいお正月を父母の膝下に送るべく二十五日入港のうらる丸には是等歸省の男女學生の嬉しい顏が多數見え、出迎への親兄弟の久方ぶりの歡樂に慌たゞしい師走氣分埠頭に一抹の和かさを漂はしてゐた

放送局員任免に當局干涉

【東京廿五日發電】日本放送協會では遞信省無線電話取締法規が來る一月一日より實施されることゝなり、役員及放送局員の任免は監督當局たる遞信省の認可を要するやうになつたので一應目下の全國局員は新規則に依て改めて遞信省の認可を受くるを要し、此の際に局內に相當人事異動行はれる模樣である、斯くて從來放送協會は遞信省の退職官吏で占められ兎角官僚化する傾きあり、又放送に對する內務省、遞信省の二重檢閱が問題になれる折柄更に人事問題まで當局が干涉するに至つたことは注目されてゐる

國定教科書の値下交涉

【東京二十五日發電】文部省當局は國定教科書値下問題につき昭和六年四月の新規契約期より凡そ二割方値下の方針で會社側に交涉することゝなつた

若い女の自殺未遂
揮發油を嚥下

大連市浜江町五丁目石崎キヨ(二二)は二十五日午前十一時四十分頃自宅に於てキハツ油を嚥下自殺を圖つたが死に切れず、苦悶中を家人に發見され直ちに大連醫院に擔ぎ込み應急手當を施げたゝめ生命には別狀ないと、原因その他については目下取調べ中

クリスマス
各教會で開催

クリスマス祝會は左の通り開催▲大連日本基督教會(廿五日午後六時半)▲日本基督沙河口教會(廿五日午後六時)▲救世軍育兒婦人ホーム(廿七日午後七時)▲大連YMCA(二十六日廿八日午後六時)で行はれる

兒童中心のクリスマス大會

二十六日午後二時より敷島町基督教青年會講堂に於て土曜學校主催の下に市內各名士の兒童の興味中心の童話を主としハーモニカヴァイオリンピアノ其他器樂等ありて盛大なる祝賀會を開催する由、尙市內一般の子供さん方を大いに歡迎すると

馬賊四名引渡
山東で銃殺か

先月末大連署に於ては山東を荒し廻つた馬賊の片割れ山東生れ宇振讓、曲顯芳、閻雲山、孫許九の四名を逮捕したが、二十五日芝罘より國民軍第三師司令部陸軍少佐留聚林が犯人受取りに來連したので引渡したが、二十六日出帆の公濟丸にて山東へ護送の上銃殺すると

横領犯人押送

朝鮮平安北道義州郡右津面生れ當時新義州府彌勒崔職任(二〇)は横領犯人として天津に於いて逮捕されたが、二十五日入港の天潮丸にて押送されて來た、同夜水上署員受取り安東へ護送の筈

文藝

劇壇近事

青木實

【二】

松竹が今日の大をなしたのは決して一朝のことではない。一大トラストを結成せんとの大谷社長の野望が、幾多の苦い經驗を重ねて始めて今日の隆盛をとなへるにまでなつたのである。

築地小劇場の、新築地劇團、劇團築地小劇場の二つに分裂するや、築地小劇場を助けて、小舍を貸し經濟的援助をするなぞ一部からは、可成り冒險的にみられた事だが松竹の計畫見事圖に當つて公演ごとに滿員の盛況を續けてゐる。これなぞ、松竹の時世をみるに敏感なることを自ら語つてゐる。

又、關西には、坂東壽三郎を盟主として、第一劇場なるものを組織させ、主として新作物の上演を圖り、一方に新派の井伊を水谷八重子と組合してこれ又、娛樂本位な一派を作るし、澤田正二郎なき後の新國劇を支持する等、常に拔け目なき作戰ぶりである。

歌舞伎劇の方をみるに、有り餘るほどの俳優を縱橫に動員して新案を添へ、新歌舞伎ものゝ上演に盡力するといつたやうな有樣である

雜誌「舞臺戲曲」を發刊し、上演を本位とした戲曲の獎勵をするなぞ、劇文壇に對する一の貢獻とみてもいゝだらう。

要するに、多大の資本が、よき俳優を多く集め、多數の劇場を掌中にし、智惠が揃つて、衆望に適した策略をめぐらすとでもみるべきである。然し乍ら、我々に松竹が飽き足りないのは常に、なにを計畫してもその根柢にあるところの商賣氣であり營利主義である。これは松竹が營利會社であるから、當然なことなのだが、商賣氣を離れた演劇も、たまには見たいのである。たまには、ではない。ぜひ見たいのである。今日それをみるには、我々は素人劇團を組織して「芝居入門」の第一歩から歩み出さなければならない。

【三】

歌舞伎劇は、すでに行き着くところまで行つてしまつたのである。所謂新劇が如何なる徑路をどこに見出すか？今後の問題は、すべてこゝに存ずる。

文樂の人形芝居のやうに、形式的美感をのみ保有するものとして歌舞伎劇は、今後も上演され、保存もされるだらう。又そういふ意義からは、當然保存されてよいだけの價値のあるものである。

それはそれとして、我々にとつては、演劇は時代と共に、寧ろ時代の尖端をきつて進まねばならないものである。我々は、我々の生活環境に即した演劇を欲求する。その意味から言つて、近代人に依つて創作された戲曲を我々は演劇としてもたなければならない譯である。

昭和四年に於て、プロレタリヤ演劇運動は一大躍進をなした。然し筆者は、可成りの懷疑をもつてそれが單なる、左傾流行に終らなければ幸ひだと見てゐる。

ある演劇は、單に大詰にもつてきて、赤いライトを照明しインターナショナルの合唱をなし、それをもつて、僅かにプロレタリヤ演劇として通用させてゐるものもある。而もそれに熱狂する觀客がある。俳優のせりふに理窟があると觀客は感激して大喝采を發するのである。僕はこれらの觀客に對しては、芝居をみるより本をよんだ方がいゝでせう。と言ひたくなる。

筆者の言を單なる漫罵としないために一例を擧げるならば、藤森成吉氏の「何が彼女をそうさせたか？」がある。「僞造株券」がある。何れも新築地劇團に依つて上映され、殊に前者は一大センセイションを喚起したものである。だがその作たるや類型的で單に一つのからくりを淺薄なる一面觀から發露したものである。

作者は密に自負してゐるらしいが、演劇としては決して、優れたものとはいへない。

今日では、經濟的保護を得るために、或ひは人氣取り政策から、左傾した戲曲を生むやうになつたのである。そしてそれら左傾戲曲のなるものは、主として知識階級の高級なる、或ひは常識としての玩具品となつてゐるのである。

斯の如き演劇が、いつまで觀客を引つけてゆき得るか？少くとも現狀のまゝでは崩壞は目の前にみえてゐる。或ひはもつと盛になるのかも知れない。その時は世も終りである。

だが、現代のプロレタリヤ演劇は餘りに偏頗に過ぎる。一本調子に過ぎる。大衆は既に如何なる演劇を欲求してゐるのだらうか？現實にしつかりと根を下ろした、人生の總ゆる種々相を見せてくれる演劇。これではないだらうか？僕は滿洲に、活力ある新劇團を育てたいと思つてゐる。よき協力者の現れんことを願つて止まない次第である(完)

文壇內輪話

其六―文士內職しらべ

東京　南洋三

前の通信に文士の內職をスッパ拔いたが拔洩れの分を披露する。

入間長屋で文壇に――と云つても大衆文藝だが――名を出した村上浪六こと、本名村上信は、文壇人とは少しも交涉がない。あるひは株式取引店だ。原稿料をこつちの方へ廻して、一か八かのスゴイところをやつてゐる。

結構、これがまたアタツて、儲が食つて行ける。云はゞ小說書きが內職のやうなものであり、本人又、文士ではないと云つてゐるから、何處かに浪六らしさがある。

本山荻舟は、つた屋といふ小料理屋を京橋に出して、午後になると荻舟自ら料理場に褌天をひきかけ、酢蛸や刺身をつくり、客をあしらつてゐる。これなどは堂に入つたもの今のところ、小說など、いふものは、客のヒマ〳〵に書くやうなものである。

近松秋江は銀座裏にカフエーを經營して夜になるとお客のやうな顏をして乘り込み十二時前後になれば帳場で、その日の勘定をやる寸法、かうなると文士もまた淺間しくなつて來る。

文士で、自家用自動車を持つのは菊池寛たつた一人だ。それも稅金の關係があるので乾分の名義に屆出てあるなどは拔け目なしだ。

菊池寛と云へば、例の文藝春秋が二回ほどつゞけて、この秋に發賣禁止を食つた、それも風俗壞亂の廉であつたが、寬はこんなところはひどく神經過敏で、編輯責任者の菅某に大草某は、この責任を負はせられて、社をやめさせられたとか、追ン出たとか文壇雀はさへづつてゐる。

佐々木指月といふ男がある。これは今年五十餘歲だが、ちよつと見ると三十七八にしか見えない潑剌たる元氣者だ、アメリカに二十餘年住み、二三年前日本に歸つて來た。そして、書いたがちつとも賣れなかつた。「日本の文壇は俺のものは判らないのだこン畜生……」とばかりにユカツ腹を立てゝ、昭和三年の夏に、またアメリカにズッ飛んで、一生、日本に歸らないさうだ。アメリカでは充分に飯がくへ、生れ故鄕では食へないなど痛快な現象だ。

食へないと云へば例の武林夢想庵も、外國ではその日〳〵のパンの代に困つてゐる。こないだ日本に戾つてゐたが、すぐにまたあつちへ行つた。金をつくりに戾つたもの、思つたやうにはできなかつたらしい。今、ヨーロッパに放浪する日本人で、立派に飯の食つて行けるのは、文士ではないけれども、そして、ひどく人間的には評判の香ばしからぬ畫家の藤田嗣治たつた一人と折紙をつけられてゐるなど、實に心細い次第だ。

日本の文士なンてものは、本當に見界がせまくて、東京から一夜泊りのところさへ旅行したことのないのや、汽車の二等、一等に乘つたことのないのがザラにある。そんなのが聞いた風な、ウスペラな、東京を中心にした小說を書くのだからたまらない。

小說よりも、いゝ金になるのは活動寫眞のシナリオを書くことだといふけれど、活動寫眞會社では大抵五六十圓の金を拂へば上の部中には二十圓、三十圓のハシタ金だから、いゝ、脚本が手に入りッこはない。また賣れない文士五六人がグループを作つて一つの看板をあげて活動會社に渡りをつけ映畫一本のシナリオ一千圓也內外のものを常に四本か五本賣り込んだりする。もう、文士も一本立ちではうまく行かないので、打つて一丸となり夜店をひろげるやうになつた。いゝものを書くよりも、まづ人氣を獲ること、宣傳などが第一とされるやうになつたとは呆れる。

童謠

まり

まりはほんとに
おりこうだ
かべにあてると
もとどほり
ミットの中に
かへつて來る
まりはほんとに
おりこうだ
まりはほんとに
かはいいな

まあるい體して
ころがつて
元氣にポンポン
はづみます
まりはほんとに
かはいいな

まりはとつても
强いなあ
頭をうつても
泣きません
何べんうつても
へいきです
まりはほんとに
强いなあ

古川賢一郎氏の詩集 老子降誕を讀む

Transitと鐵筆を携帶して、我等の滿蒙を測量する青年苦力古川氏の六ケ年の清算「老子降誕」は、あゝ餘りに正確なる滿蒙解剖圖ではあるまいか。

君のTransitは我等の內臟を暗黑なる地獄の內を容赦なく測量する。然して鐵筆は總てを淨化する。

詩人佐藤惣之助は

天與は素材を活潑にする。即ち形態を發める。環境は素材を要める。「老子降誕」はこの環境に古川君の性情をちりばめたものである。

と云ひ赤

古川君は滿蒙の心靈的地層を遊弋してよく生活の苦汁を咀嚼してその詩態に塗り擴めてゐる。故にこれは單なる觀光者の快走リリックではない。打のめされた弱肉の嘆だ。狂氣した娘仔と餓えた滿壽子女の怨靈的な代辯でなくて何であらう(序文參照)

誠に古川氏の夜の詩人だ。それ故に暗澹だ。陰慘だ。灰色な病的な娼婦の叫びだ。

茲に一篇を拔いて見る。

路上の雪のなかに
落ちた柘榴のやうに轉がつてゐる首
皮膚は凍つて
ひするのやうに蒼くなつてゐる
額へ拔けた彈丸あとは
椒の花のやうに開いてゐる。
これが人間の首ですか。
殺された賊の頭より穢ない首
ちよん切られた人間の首(略)

◇

あの子は冷たい溫突の上で、干からびた老婆に抱かれて眠る。
あの子の骨や皮は固くなつてゐる
血の色さへ薄くなつてゐる。
革命の埃の中で瘦せ細つてゆく子供。
「胡よひもじかろ」と呼かけてごらん。
「喂」と薑くさい返事をする。
(生きてゐるの中)

滿鐵は數多の藝術的紹介者を招聘して宣傳に努力する。然し彼等は何を紹介して吳れたか。民謠詩人某の民謠の幼稚さ。車窓に頭を倚してMCCを喫しながら通過する彼等は觀光客だ。

最も深く我等の心臟に杙を入れて大膽に紹介して戴きたい。我等の詩人の古川氏の大膽を見よ。

今世紀の滿蒙族の苦鬪の中へ。苦力の生活の中へ。私は默つて突き進めて行きます。誠に彼は北行する苦力の爲めには老子でなくてはならない。

彼の測量旗の紋章は幽靈だ。彼の背には青龍刀が光つてゐる 彼れはトランシツトと鐵筆を擁して進む。遼東へ。北滿へ。內蒙古へ。

そこには私窩子が居る。花子が餓死せる嬰兒の肋骨が、沙漠には生首が。城壁の月下には蝸が、汪寶窟には日本女郎のノスタルジヤな哀調が

之等の測量記錄の清算「老子降誕」私共は茲に餘りに暗鬱なる滿蒙での老子の降誕を祝福して止まない。(恭)

映畫界展望

マキノ來滿宣傳

滿鐵東京支社に關係なし

山村水太郎

秋も老けて、そろ〳〵北風が寒くならうとする頃から、パッと擴がつたニュース、それは殆ど日本全國的に擴がつて行つた。

それは、マキノが滿鐵の援助の下に滿洲背景の大映畫を製作するといふのであつた、總費用十五萬圓(あるニュースには二十萬圓といふのもあつた)渡滿俳優百五十名、大連乘込みは一九三〇年一月五日の豫定右は滿鐵東京支社長と契約調印ずみ云々。

何と素晴らしいニュースではないか、マキノ更新の第一聲、遙かに遠く異鄕に進出して、これ實に日本開闢以來の大撮影、さすがに故省三氏の雄圖を語るものゝわれらはその日の早く來らん事を鶴首したのであつた、しかして、マキノ渡滿のこのニュースは其後新聞に雜誌に通信に、あらゆる處の映畫欄を賑はした、「マキノ渡滿」「マキノ渡滿……」。

だが、それから一ケ月、二ケ月時は年の暮れに迫つた、一九三〇年までにはもう日がない、だが、其後の第二報が出ない、第二報どころか、あの勢ひならば、第三報も四報もあつて然るべきに。

マキノ黨のファンはしびれをきらした、一たいどうしたといふのだ來るのか來ないのか、その內に地方的の極小さいニュースが傳はつて來た、それは大連連鎖商店街の新築常盤座へマキノ俳優十數名が挨拶に來る、一九三〇年一月五日頃大連着の豫定、はゝあこれでなぞが解けた、といふものがある解つたやうな、解らないやうななぞであるが、總費十五萬圓で百五十名の一行は來ないのが事實らしい。

然らば、十數名の一行が挨拶だけに來るのかどうか、それは第三報が傳はらないからまだ解らない、しかし、一九三〇年の一月五日頃はさう遠くはない、その日が來たら確實にわかる事である。

由來映畫界の宣傳には天才的のきらめきがある、特作が超特作になり、超特作が超勞級特作になり、超々勞級特作が百萬弗映畫にもなつたりする、それから見れば十五萬圓映畫ぐらゐ何でもない、最近はいよ〳〵窮してあちらではA Million Candle Power Picture(百萬燭光映畫)などいふのが流行してゐる、まことはモダン天才的だ。

かくして、映畫界の宣傳は或程度までのヨタは道德圈外に置かれ許されてゐるのであるが、罪の深いのはその圈線の內外を彷徨してゐる●プロパガンダである。

マキノ渡滿撮影說の宣傳には滿鐵東京支社長と契約調印濟とあるが、東京支社長から本社へは事實無根との報告が來てゐる、たゞしかうしたエピソードは殘されてゐる、それは、或日、マキノを代表して某氏が滿鐵東京支社運輸課を訪れ、滿洲へ撮影に出かけたが×

×園援助してもらへまいかと申出た、具體案はとの反問に對してその案もなく且つあまりに漠然たる話であつたので支社ではお斷りした、たゞそれだけのエピソードが殘されてゐるさうである。

マキノ滿洲撮影說が何處から飛ばされたニュースで、その飛ばし主が誰であつたか、それを今更ら詮議して見たてはじまらないが、ずい分罪なニュースであつた、第一、十五萬圓も、かける映畫は素晴らしいものだ、本場のアメリカでさえ容易の事でない、第二、滿洲入り百五十名の俳優はエキストラ數へてゞあらうか、第三、極寒一月を選んでの滿洲ロケーションは全くの俳優泣かせだ、凍傷ぐらゐなら我慢出來やうが惡るく行けば凍死事件もあるかも知れない、ニュース內容を具さに見れば、何となく宣傳のために宣傳、最も下手な宣傳らしいではないか、心ある映畫人はたゞ一笑に附してしまつたであらう、どうせためにする宣傳ならば、も少し天才的にモダンにやれなかつたらうか

日本映畫界の鬼才故省三氏の遺業を堅實に護る人々のために、われら最も遺憾とする處であるといふ人もある

しかしてさらに、巷間傳ふるものゝ說に、滿鐵マキノに對する信義を裏切る云々とあるが、此間に立つてその消息を知るものは故省三氏亡き後のマキノ更生の爲めに長大息せぬものはない、何れは何れかにひそむ策士の爲めに謀られたるか、却つて宣傳に禍ひされんとするマキノを憂ふものが多い。

新興の氣旺なる連鎖商店街の常盤座、その前途多幸である、その開館式に當り、マキノ中堅を以てする俳優諸君が來て舘上更に花を添えんとするのはまことに愉快である、一九三〇年芽出度スタートを切つて落成祝の美果を譲られんことを切に祈つてやまない。(一二、一二)

平安異香 (210)

集多默太郎作
中一彌畫

奔流(七)

傘張り職人、實は捕吏の藤六といふのを加勢につけて、勘兵衞、太吉に藤六、三人で跟けて行くと向ふはお秀を中にして、下郎風と侍風の三人、肩を並べてとつとと行くのだつたが、二條と、三條の中間の小路を京極へ拔けた時には、それに商人風體の男が加はつて四人になつてゐた。

「藤六、誰か一人そこらで拾つてくれ。此方も四人にしたいんだ」

「變なことをやるんだね。何んだか職人合せみたいだ。傘張りに女房に百姓にお武家に、今度は何にしよう」

「愚圖つかないで早くやつてくれ山の連中の樞機の大きい所を見せようつて肚らしいから、此方にだつて、この位の用意はあるぞと、しつかり見せておいてやりたいんだ」

「よからう」

と藤六が横飛に露路へ驅けこむと、間もなく牛丁ばかり先の露路口へひよつこり首を出して、勘兵衞等を待つてゐる。一人、いがぐり頭の荒法師みたいな男を連れてゐるのだつた。

これを加へて此方は四人、向ふも四人。

それが、京極を北へとつて、二條へ出た時に、何處から現はれたのか五人になつてゐた。

それといふので、路傍の柳の下に乞食のやうにして屈んでゐたのを呼起して此方も五人にした。間もなく六人になつてゐる。

此方も、もう一つ頭を揃へた。負けず劣らず、何處までも競爭してみるつもりである。

ふと、お秀が早口に何か云つたやうだつた。同時に一味の足が早くなつた。走るやうな歩き方だ。

「おくれるな。目星はお秀一人だ有象無象に目をくれな」

勘兵衞は手に唾して眞先に立つた。

一條へ來た時、少しも氣振を見せず、唐突にお秀が角を左へまがつた。

追驅て一條の辻へ出た。

お秀は四五間先を歩いてゐる。が、何をどうしたのか、お秀一人だ。五人の護衞は影も形も見えない油斷なく、八方へ目を配つたが、まつたく足跡さへも殘つてゐないのだつた。

器用な眞似をしやがる。

からつけつの勘兵衞が唸つた。

「油斷はならねエぞ」

と、藤六だ。

太吉は、女の樣子をぢつと見ながらいつた。

「あきらめて、手を變へるつもりだ、彼奴」

「太吉、どうしよう」

「此方も變へるんだな。一旦やり過して、安心させた上で跟けるんだ。一からやり直すより仕方がねエやうだぜ」

「ぢや太吉、手前だけの手を借りることにしよう」

「光榮の至りといふ奴だ」

「皮肉を云はねエでやつてくれ。まつたくの所、一人ぢやどうも手に合ひ兼ねる敵だからよ」

「仕樣がねエ。こゝまで引つ張られて來たんだから、今更のくわけにもゆくめエ」

で、四人を散らして、勘兵衞と太吉の二人が、本格の尾行を始めた。

二人のうちの一人が、必ず露路を拔けて先廻りをする。そして、常にお秀を中に挾んでゐるやうな位置をとつた。

露路を走りながら、或は露路の中の塀の蔭などで、布衣を裏返したり短袴を伸ばしたり、引揚げたりする程度の手間で濟ませる變裝をした。こん度は滿目だから、それで充分効果のある變裝が出來た。そして、汗水流しながら大車輪で尾行した。

お秀は、朱雀大路へ出した。追ひ詰められて、よんどころなく大路へ出たとも思はれるが、また、大路の人混みの中で、うまく勘兵衞等をごまかさうといふ肚のやうにも思はれるのだつた。

大衆本位の演藝館

(二) 正月映畫陣

大衆映畫を標榜する演藝館は今年の正月興行が比較的不成績であつたのに鑑み明春こそは斷然他館をリードすべく過般英澄館主が上阪して帝キネ本社との間に正月番組の直接交渉を行ひ、これを基礎として西洋映畫を組合せて大衆本位のプロ編成に苦心を拂ひ、また一面ファンの期待にも添ふべく陣容を整へてゐる、即ち初春興行の第一週は市川百々之助主演の帝キネ特作品「嵐山花五郎」を内地と同時封切し現代劇は百パーセントの興行價値を狙つて鈴木重吉監督作品高津慶子入社第一回主演の「戀のヂャズ」及びビーブ、ダニエルとレーモンド、ハットン助演のロイドの喜劇「無鐵砲ロイド」の三本立である、第二週は「第七天國」と同じトリオーボザージ、ゲイナア、フアーレルのフォックス映畫「街の天使」を以て半畫ファンを迎へまたラグビーを取り入れたスポーツ映畫の「あすは決勝」の大衆向き現代劇に明石緑郎主演の時代劇「泥濘」を組合せ「街の天使」を呼び物にしてゐる、第三週は巴里の「サブマリン」と併せられる小フェヤバンクス主演のテイファニー、スター映畫「旋坑」を中心に時代劇は松本田三郎主演の「出港の船」現代劇は帝キネのレヴュー映畫といふ高津慶子主演の「好きだから」を上映し三週とも三本立である、その後に於ては大物としては「ショーボート」や「四人の惡魔」が期待されてゐる。【寫眞は戀のヂャズ】

噂話

いよく年末もおし迫つて來て、各映畫常設館ともに新春興行の宣傳に力が入つて來たが▲今年の宣傳流行語は「内地同時封切」▲勿も演藝館、大日活、常盤座の三館は事實内地と同時封切をするらしい▲帝國館でも正月第四週には斷然内地に於て他の館を押へた鶴見祐輔の母を引いて松竹映畫滿洲入のレコードを破らうと力んで居る▲今晩五時から島彦で吉田新浪速館々主が關係者を招待して顔つなぎをやるとの事である▲しばしば來滿の噂を立てられて居た西條八十氏の話が又復持ちあがつて居るが▲今度は幾分確實性を持つて居るやうだ▲帝國館宣傳部の津多皓三君、一身上の事から二十八日の夜行で一寸と日本へ歸つて來るとの事。

買物ニュース

▲磐城會の組合大賣出は年毎にその殷賑さを増して本年は特に店頭の装飾と景品付で盛んな景氣を見せて居る▲三越の大歳の市は流石に商品の豊富と大衆向の品揃ひで思ふ存分の買物が出來るので何時も滿員の盛況

けふいよく開院式

焦り出した野黨政友會 解散回避に死物狂ひ

民政、一意總選擧準備に沒頭す

今議會の前途暗澹

【東京二十五日發電】いよく第五十七議會の幕も切つて落され二十六日を以て開院式の運びに至つたが、政友會の對議會策につき民政黨方面に達した情報によれば政友會は疑獄事件を逆用し現內閣を傷つけ、アワよくばこれを以て內閣を轟殺せんとの陰謀計畫を立て鈴木系並に久原系が必死の策動を試みたが、豫期に反し遂に大山鳴動鼠一匹に終つた觀あり最早之れ以上進展せぬことが大體明かとなつた、從つて今や政友會內部の失望蔽ふべからざるものあり、これがため鈴木系に對する黨內の反感高まりそれに床次系との暗鬪も絡つて各派間の勢力爭ひは益々深刻ならんとしてゐるが、只僅かに解散の際に依つて事なきを得てゐるに過ぎない狀態である之を以て一度解散を受けんか政友會は滅茶々々に慘敗の憂目を見るべきは明かなるを以て解散を回避のため貴族院や樞府方面さては宮中方面等にまで手を延ばして宣傳或は策動に努めてゐる模樣であり、また一部では表面上金解禁後の財界對策並に軍縮會議等のため此の際解散は不當であるとの口實を設け濱口、犬養兩黨首の會見を行ひて妥協せしめんと奔走せる者もあるやに傳へられてゐる、要するにこれ等は總て政友會が解散を回避し內閣を倒さんとの魂膽に基けるもので政友會が如何に焦慮せるかを裏書するものである、と云ふにある、民政黨としては濱口總裁も機會有る每に力說してゐる通り毫も不純なる解散回避の策に耳を藉さず、更に斷乎として陰謀を排擊して進む方針であり、延いて與黨幹部に於ては如何なることありとも休會明け後の議會に於ては政上の理由に基き解散を斷行せらるゝものと確信し、之がため安達內相を中心に屢々會合し解散後の後任候補者の銓衡並に濫立防止につき協議し一意總選擧準備に沒頭してゐる

靜に休會明けを待ち 解散は突如斷行か

休會中 政治經濟的流言蜚語を取締り 回避運動を警戒

【東京二十五日發電】現內閣の進むべき途は實際上からも理論上からも解散斷行の一途有るのみである、政府もまた二十四日の閣議に於て凡ゆる倒閣陰謀、解散回避運動を排して所信を斷行する方針を貫徹するに決し

總選擧に 臨み擧揚すべき政策に關しても意見交換の結果、既に一部發表された諸政策につき更に具體的研究を急ぎ休會明け前の閣議に附議決定の上へ濱口首相の施政方針演說中に挿入して國民に宣揚することゝなつた、併しながら議會休會中反對黨が倒閣運動のため放つ流言蜚語は益々辛辣を加へ政友會、中間諸派、貴族院および樞密院の一部、財界一部等の間に密に連絡を結びつゝ行はれ解散回避運動も益々

深刻化す る形勢がある、これが對策につきても同日の閣議で意見の交換が行はれた結果、政府は休會中に於ける解散回避の動きに警戒を怠らず倒閣のためにする政治經濟的流言蜚語の取締を嚴重にすると共に殊更に解散恐怖の情を刺戟して回避および倒閣の陰謀を激化することを避けるため解散の聲を餘り大にせず靜かに休會明けを待つて

疾風迅雷 的に解散を斷行する戰術を採用することゝしたらしく如何に解散回避の動きが微妙の間に動きつゝあるかを窺ることが出來る

政友幹部不信の聲 血氣にはやる有志代議士

【東京二十五日發電】政友會が解散の危機を孕む今期議會に對し如何なる方針を以て進まんとしてゐるかについては、黨員の間にも未だ犬養總裁並に幹部の眞意を計り兼ねてゐる有樣で、果して解散覺悟に主戰的强硬態度を以て邁進するものか或は解散回避で行くのが黨是を判然と捕捉するに苦しむ狀態に在るが、斯くては

對議會策 は兎も角選擧戰の上專ら選擧準備に熱中するとが出來ず、また幹部にしても統制ある充分な選擧準備が整はず、萬一幹部の期待通り休會明け前倒閣の目的も達し得ず又解散回避も不能の場合はそれこそ選擧の結果は非常に不利と見なければならぬ、斯る幹部は其の責任を如何にするかと此部の不信の聲を放つ者も黨內に相當醸されつゝあることは否まれない事實で此の際いづれか激の態度を明瞭にし度いとの理由で二、三有志發起となり二十五日午後一時半本部に有志代議士會を開くことゝなつた、然るに幹部は此の血氣にはやる有志代議士を宥め總裁及幹部の間に深く決するところあり、決して無爲無策で漫然其の日を送るものでないとの理由を以て幹部は本日の有志代議士會を中止せしむるに至つた

打切線の復活は黨略の疑ひあり

研究會の態度險惡

【東京二十五日發電】研究會は來る二十七日開會の鐵道會議を目前に控へ同會所屬委員たる溝口、小笠原、青木、大河內、小松、馬場、馬越の諸氏二十四日午後二時から事務所に會合種々協議の結果一、政府が一旦新打切方針を明示し置きながら與黨の反對によつて之を緩和したるは復活線が總て黨略線であると見られても仕方があるまい、斯の如きは疑獄事件發生の折柄益々黨弊を助長するものである 二、復活線決定標準には黨略の疑ひあり、又削除線と雖も一旦鐵道會議の承認を得たるものであるから之を今回の會議で容易に承認することは出來まい との强硬意見を纏出したが、なほ愼重を期するため二十六日更に會合最後的態度を決定することゝなつたが、研究會のかゝる强硬なる態度は自然公正、同和會方面にも反映するものと見られ二十七日の鐵道會議は相當紛糾は免れまじく延いては議會に於ける貴族院の態度は更に險惡化し政府に不利なる形勢である

鐵道會議の改善

江木鐵相決意を表明

【東京二十五日發電】疑獄防止の一手段として鐵道會議の內容改善は貴族院方面では研究公正兩派先鋒となり最も痛烈に鐵道當局に迫りつゝあつたが、二十四日華族會館に於ける公正會幹事並に政務審査理事と江木鐵相との會見に於て鐵相は同會議を權威有る諮問機關たらしむべく勅令を以て改正するとの決意を表明するに至つた、即ち右會見席上鐵道會議の御用的諮問機關たるを改め權威あるものたらしめて利權者の跋扈を防止すべしとの意見は前議會貴族院委員會の附帶決議も有ることであるから當局は之を尊重し鋭意調査を急いでゐるが、黨略に左右されぬやう右會議の組織を改め諮問事項の範圍をも擴大する方針でなほ改正は法律に依らず勅令を以てなすべく目下具體的に協議中であると說明し協力諒解を求めるところあつた右鐵相の言質は果して貴族院側の要望を滿足せしめ得るや否やは疑問なるも鐵道會議改善問題は漸く實現の可能性を帶ぶるに至つた

大藏證券の發行限度 一億五千萬圓に

【東京二十四日發電】明年度剩餘金は追加豫算財源を見込めば一千萬圓前後と殆ど涸渴の狀態に在り政府は國庫金收支の關係上大藏省證券發行限度を擴張する必要ありとし明年度豫算に之が要する經費百二十二萬二千圓增加を計上してゐる發行限度現在一億圓を一億五千萬圓に擴張する事にならうと

日魯漁業總會 年六分配當可決

【東京廿五日發電】日魯漁業は廿五日午前十時より定時株主總會を開き配當年六分案及び重役全部改選の件を附議原案通り可決重役は專務平塚常次郎、常務眞藤愼太郎、同松下高、取締役中野正永(鮮銀)、同高橋錬逸(三菱)監査役阿部秀太郎(鮮銀)同中島伊平(鮮銀)、同ブース

新嘉坡問題討議

英國下院において

【ロンドン二十四日發電】イギリス下院に於て本日シンガポール海軍根據地問題が議せられた、保守黨議員サー、フレデリック、ベンニー氏は新嘉坡海軍根據地はイギリス帝國保護のため必要である、好戰的の各種字句はなほ戰鬪的本能を捨てず、日本は皇帝の命だにあらば一致團結して蹶起する、支那四億の民は新らしきドルを得る見込みあらば死生を賭して戰ふであらう と述べ之に對し勞働黨議員ジョージ、ランバート氏は政府の右工事縮小に贊成し 右根據地の目的は我國の同盟國日本に對するものであるが、日本との戰爭を考へるならば新嘉坡根據地だけでは不充分で役に立たぬ 右討論に答へ海相アレキサンダー氏は右根據地を考へる時は政府は何時も海外自治領や植民地を重んじ其意見を一かねばならぬ、なほ根據地問題がロンドン會議の交渉中其取引のため利用されぬであらうことを茲に言明して置き度い

航海中のわが全權

好天氣に惠まる

【オムピック號二十四日發電】若槻、財部兩全權を乘せたオムピック號は波浪高きも晴朗なる天氣に惠まれ航海を續けつゝあり、十度乃至十五度のローリングとピッチングあり食堂の窓硝子一枚激浪のため粉碎したが幸ひ誰も負傷はなかつた、若槻全權一行及び新聞通信社員一同は元氣旺盛である、本日ロンドンの松平大使より若槻全權宛無電で挨拶あり全權一行ロンドン着の際はウオーターロー停車場まで出迎ふべきを通達して來た、海軍專門委員一同は每日準備研究を續けてゐる、二十五日は大正天皇祭に當るので當日午前十時を期し船中の全權一行は遙か東京に向つて起立し一分間の默禱を捧げるはずである

佛の軍縮案と伊の不利

【ロンドン廿四日發電】海軍々縮問題につき二十一日佛政府より英政府に送附し來れる覺書中フランスは「地中海ロカルノ條約」とも稱すべき保障條約の締結を交換條件として自國の海軍計畫を縮小する意のあることを暗示してゐると解されてゐるが、右の案に依ればフランスがイタリーより襲擊を受けた場合には英海軍はフランスを援けることになると

滿洲の將來

太平洋調査會の反響 (9)……保々隆矣

民國の青年議員に與ふ(上)

叙上に依つて滿洲問題の將來が極めて多事多端であり、其解決には吾人が深思熟慮せねばならぬものが多いかを讀者は略了解されたことゝ思ふ。蓋し從來の滿洲は世界の邊陬であり、列强の視野外であつたが近時其の實情が識者の觀察と論議により廣く知られた結果は一面に於ては從來動ともすれば支那側の宣傳によりて惑まれて居た日本の立場が至當公正の地位に復歸することゝなつたのは京都會議等の大なる效果ではあつたが、同時に亦將來歐米人が滿洲問題に彼是と口出すことも必然である、此點に於ては極めて迷惑な話である。本紙の讀者中には中國人識者が居らるゝと詮ふべきを信ずるからこれ等の人々に率直に滿洲に關する私見を述べて本文を結びたいと思ふ。

惟ふに滿洲問題の究極は(1)一九一五年の諸條約就中廿一ヶ條の法的價値と(2)滿洲の開發に日本が參加することが支那にとりて果して不利なるや否や又この事が正義に反するや否やが一派の論議の焦點であると余は確信する者である。

中國の新人諸君は言ふ、廿一ヶ條要求は脅迫に因り、且つは國會の同意無きを以て無效であると、けれども諸君も考へて見るがよい一體國際條約は强制の有無に因つて法的效果に影響することがあるか?歷史を繙けと言ふ必要もなく古往今來、國際條約の大部分には一方の强要はあるのである。こゝ十數年間、歐洲の政治家、外交家達の仕事の種であるかのベルサユ條約も率直に言ふとドイツが聯合國に强請されたものではないか。則ち當時ドイツ國民はウヰルソンの非併土、非賠償に欺かれて居たからの結果ではないか。諸君も知るが如く一九一八年明白に聯合國がドイツを欺いたのであるが、その條約は今日斷乎として存し、ストレーゼマンの如き有能の外交家を以てしても、極めて漸次的にドイツの負擔を輕からしむる外に途はないではないか。これに比すれば一九一五年の吾國の要求の如きはかゝる欺罔は寸毫もないのである。該條約は無效などと諸君が正面から如何に言つて見ても世界で取上げ得る資格ある國は先づ無い筈である。

諸君は又言ふ、國會の同意を經て居ないと。一體其當時議會で支那の國事を決して居たのか?成程紙の上で半出來の憲法はあつた、從つて議會もあつたかも知れぬが、大總統袁世凱は一時議會などを招集する程立憲的の男であつたかドーか。諸君は考ふる迄もあるまい彼の志は專制政治であり、皇帝であり、苟くも此野望を達成するためには何物をも惜くはなかつたのである。吾人が强要したのではない。彼が其面子を立てむが爲めかゝる文書を日本に要求した證で話は上合意を强請の如く裝ふたに過ぎない。だから如何に吾人が讓歩しても當時に於て議會などは無く該條約の有效なるは餘りに明白な話である。それを議會の同意の有無を論じて恰も十年「國際聯盟加入問題」で米國上院がウヰルソンを苦めたと同樣の議論を米國あたりで諸君の仲間が宣傳するを氣の早い米人は「さうか」と思ふかも知れぬが、これも實相が判ると滿洲問題同樣時のドイツ外相シヤイデマンはウヰルソンの提案を天來の福音の如く考へ、講和の有利を議會に述べたる演說の一節に Ein Frieden des rechts keinen der gewalt と言ひ、ウヰルソンを丸呑みに信仰した其の結果一三二〇億金マークといふ空前の大々的賠償をドイツは科せられたではないか。これ又諸君の信用を毀損する許りである。吾人は隣人として此事を率直に諸君に忠言する

隴海線を境界に 支那は二分さる

閻蔣兩氏の勢力下に

【東京二十五日發電】其筋入電に依れば蔣介石氏は黃河以北の叛逆軍の各軍に對し今後閻錫山氏の統率を受くる樣命令し支那は隴海線を境界に四分六分の割で閻蔣の二大勢力に粉飾せらるゝに至つた

汪精衛氏を一般に非難

『一定した主張なし』と

【上海特電二十五日發】香港にあつた汪精衛氏は廣西派および張發奎軍の廣東奪取失敗に歸したので最近河內に去つたと傳へられてゐたが、昨日、香港において二十二日附の通電を發し、今後も依然繼續して奮鬪すべきことを述べると共に蔣介石氏を倒したのちは、よろしく政治は公開すべく一黨の專制によつてはならぬとの旨を聲明した、右汪氏の聲明は閻錫山氏の諒解を求めるための意思表示と見られてゐるが、閻氏は既に改組派と提携を斷つことを聲明しており汪氏の斯くの如き表示は何等氏の同情をうけるには至らないであらうと見られてゐる、只汪氏が政治は一黨の專制によつてはならぬとしたことは從來、汪氏の主張したる黨治說を覆へすもので汪氏にして今後の說を飽くまで支持せんとするにおいては、それは大なる決意によるものであるといへるが一般では、これによつて汪氏には一定の主張なく、その成敗如何によつて時により、その主張をかへるものであると見てをる

アグレマンを出さず 支那自ら困る

日支交渉開始し得ず

【東京二十五日發電】小幡公使に對する支那の輿論は依然反對を唱へ國民政府もアグレマンを與ふるを躊躇してゐるが右に對し外務省は先年小幡公使が駐支公使に赴任の際も二十一ヶ條を口實に支那輿論の反對に遭つたが之は政府に反對する一派が政爭の關係で反對したもので間もなく止んだ事あり今回の反對運動も國民政府首腦部が內政統一の具に利用してゐるもので內爭が下火となればアグレマンを遂つて來るは明かなりとして何等督促する事なく傍觀的態度を執つてゐる、之がため王正廷氏は年內に日支通商條約改訂交渉を開始するを國民に誓つたにも拘らず交渉相手の小幡公使にはアグレマンを與へ得ぬ立場にあり自繩自縛の窮地に陷つてゐる

年末の金融界 極めて平凡

但し地方中小銀行の申込みで日銀貸出八億八千圓に及ばん

【東京廿五日發電】金解禁前年の歲末決濟として本年末の金融界は特別の意義を有するが、今日までの實際の推移は前年末と殆ど變りなく極めて平凡に經過してゐる、即ち期末配當資金の需要、年末決算資金の

地方送り は二十日過ぎからぼつく始まつたが、相變らず事業界の不振と商取引縮小の結果分量は少くコールレートも月半以降漸騰步調を取つてゐるが、休日前二十四日の唱へには紡績手形と共に前年同日と略變りなく、二十四日には市價シンジケート銀行から豫定以外の融通二千九十五萬圓が行はれ人氣的に多少引締り材料となつたが、實際上には何等

影響なく 今後越年までの見込についても著るしい變化は豫想せられず今年末は金解禁實行が年明け早々に迫つてゐるのと前年末の有力銀行が融通し過ぎた經驗に鑑み有力銀行筋で多少貸越り氣味なので年末民間預金の減少は一億五、六千萬圓程度にとゞまり、その代り地方銀行および中、小銀行の日銀に對する貸出申込でその結果年末の

日銀貸出 は現在に比し二億圓內外增の八億八千萬圓位に達しコールも日銀高低步合一錢五、六厘位となる模樣である

大連港を中心とする年末年始の海運界

依然として不振を續く

大連港を中心とする年末年始に於ける海運界の市況を概觀するに、近海に在つては船腹依然として潤澤を極め、のみならず內地需要暢なるため採算關係不味にして取引また不活潑なるを免れぬ狀態にある、これが爲め荷動き捗々しからず豆粕阪神六錢、京濱七錢を維持するに過ぎない、此の

情況は 來春春肥市當開始まで繼續するものと觀られる、更に遠洋市況に於ては歐洲方面は大豆需要の消化遲々たるため取引殆ど見送りの狀態にあるに反し、船腹は依然過剩なるため運賃は漸落步調を辿り十一月末まで十二月積二十四志、一月積二十五志と先高見込みであつたが、十二月に入つて以來上記の惡材料益々濃厚にして先物に對しては二十二志を唱ふるに至つてゐるが、更に二月以降の一般的大豆利用

減退を 考慮すれば恐らく現在以上の進展を見ざるものと觀られる、一方歐米市況は殆ど何等の變化なく依然穀物の引合平調にして先物に對する豆油の商談相當にあるも、內地魚油引合旺盛に押されたると、好適タンクの供給不充分なるがため、市況の變動を見ざる模樣である

小橋一太氏歸宅す

【東京二十五日發電】私鐵事件の久須美、佐竹兩氏の參考人として廿五日午前十一時兩角豫審判事の召喚により檢事局に出頭した小橋一太氏は午後八時歸宅を許された

暴風警報

風强かるべし二十五日午後七時半南滿洲附近を警戒す

安樂椅子

今度の關東廳の大異動で動いた新大連署長尾崎三郎、新長春署長石井金三郎、新安東署長高山勝司の三君は關東廳警察界に於ける人格者で署長としては滿點▲大連、長春、安東の三角重要地に三君を配置したことは適材適所との評判▲高山君の安東轉出は可哀想だといふ噂も聞くが署長の椅子をして大連が最高とすれば依願免のほか途はない▲從來大連署長は依願免であつたことは彼が關東廳の癌であつた然るに同君を安東の重要地に拉し失墜した大連に於ける警察の威信を回復し完全に保持せしめた偉功とが光つてゐることは勿論である▲尾崎君の大連進出、石井君の長春進出何れも榮轉で申分はない▲寺田君の撫順行は平凡で寧ろ荷が重過ぎはせぬか、坊チャン署長はモ少し埠頭の波にもまれてからでないと▲大林君の撫順署長被免は關東廳が彼をどう取扱ふ積りか、廳內各課長も決定濟みの今日、まさか內地へ引ッコ拔く積りでもあるまいが、御本人の占ひは果してどう出るか▲異數の拔擢で羨望の的となつてゐる林源之助君が石井君の跡に行くのは何處までも運のいゝ惠まれた男である▲泉警部の本廳入りは警視の見習、長春田中、口原兩君の本廳歸りも沿線署長への準備▲長春田上君の貔子窩轉りは氣の毒だが馬賊討伐の總大將だけに關東廳でもそれだけの考へは持つてござらうから當分辛抱するさ▲旅順署長が殘されてゐるが旅順は內地から拉し來るかも知れぬが五十步百步だ▲未曾有の大異動ではあつたが長春、安東、大連を除いた他は餘りに平々凡々であつたと警察部內の批評

漸く年末決濟迫り 金融界頗る緊張

銀の大暴落で受けた華商の痛手も手當早く大影響なし 先づ無事に越年か

年末決濟の切迫につれ當地金融界は異常の緊張を示し、手形交換高の如きも日々激増の一途を辿り、資金移動漸く繁忙を告げてゐるが本年は露支紛爭による南下貨物の激増に伴ひ

下半期 は預金貸出ともに前年同期に比し増加してをり、加ふるに銀相場の大暴落に華商方面に相當痛手を蒙つたものもあると傳へられ年末決濟は相當警戒を必要とされてゐるが、銀行方面の觀測では、特産出廻り當初に於て金融緩和を見越す貸出に手心を加へ、今日貸出てゐるところは何れも確實なる放資であつて回收に

不安を 感ずるが如きことなく、唯々一部華商の痛手は手當が早かつた爲め銀行決濟に差支へるほどの影響はない、殊に事業方面は警戒嚴重で殆ど見るべき貸出もなく特殊の事情が起らざる限り年末經濟は無事終了するであらうと見てゐる

文藝家協會が 放送を拒否

官僚化と二重檢閲を憤慨

【東京二十五日發電】文藝家協會では二十一日定期總會席上放送局の官僚化及其の二重檢閲に對し放送局の態度を表明し、檢閲制度改正の第一歩として先づ放送局を血祭に上げ協會員一致結束し作品を一切提供せず、又文藝講演其の他の放送もせざることを決議した、放送局側では之が實行されたら大打撃であると狼狽してゐる

近頃旺んな 映畫利用

全國で一年間に 十六萬四千餘圓

【東京二十五日發電】近年教育教化社會事業産業方面の改良指導その他衞生防火等の各種事業の宣傳に映畫を利用する傾向著るしく、全國道府縣では映畫關係の課係を設置してそれぞれ活動してゐる北海道の十三、岡山の七、大阪、兵庫の六、最も多く總數百五十七、一縣平均三の關係課係を有してゐる、而して之等の中最も多きは教育教化社會事業を目的とするもので總計六十八、全體の四割三分強を占めてゐる、また産業方面の利用は農事改良

農村振興 を目的とするものが多く而これらは農村、漁村、工場等娯樂の乏しい場所に娯樂を供給する主要な役目をも果してゐる、利用の方法は公開が最も多く大部分を占めてゐる、其の他フイルムの貸與紹介製作頒布等をなすものもあるが一般的には未だ小規模で組織的でない、而して道府縣に於て昭和三年中映畫利用のため費されたる經費は總計十六萬四千五百十四圓にして一縣平均三千八百餘圓である、これは府縣の直接負擔のみであるが、他に諸種の公共團體から支出せる金額を合すれば實際は更にこれ以上の經費を要してゐる事になる

小賣商共通の 商品切手の認容運動

百貨店の小賣商壓迫にして

【東京廿五日發電】最近百貨店の著るしい進出に伴つて之が對抗上小賣商間に共通商品切手發行問題が再燃し大藏當局の頑迷なる態度にも屈せず猛運動が續けられてゐる、而してその主張する處は現今の百貨店商品券は之れを發行せる百貨店に限り通用すべきものであるにも拘らず、却つて一般小賣商店に通用しつゝあるため小賣商は

營業上 の不利甚だしく、このまゝ放置する時には益々百貨店に小賣商店の販路を侵蝕され終には自滅するのみである、大藏當局は共通商品切手發行を紙幣類似證券取締法第一條第二項の規定に觸るゝものとして禁止してゐるが共通商品切手は百貨店の商品切手と同じくその實質は商品預り證券であつて現品贈答の不便を避け必要に應じ隨時商品と引換ることを目的とするものであつて、毫も紙幣類似の流通作用をなす事を目的とするものではない、然るに共通切手なるが故に直ちに紙幣類似の作用をなすものとして發行を禁止するは今日の實狀に今致せざるのみでなく中小商店の經營を益々

困難に 陷らしめるものである、また確實の點から見るも共通切手は多數の連帶責任の下に發行せらるゝものであるから中小商店及び百貨店の單獨切手に比して遙かに勝るものであるが、大藏當局に於て若しその確實なる所惧の念を抱くなら發行總額に對する金額を日本銀行その他に積立て保證する方法をとつてもよいと云ふ意嚮なものである

可愛い兒を手放して 生を求む哀れ母親

託兒所に戲るゝ幼兒の姿も涙 師走を行く (25)

ボーナスに懷中暖いお父さんお母さんに手をひかれて玩具店の前でクリスマスプレゼント、お正月の御年玉をねだる坊ちやん孃ちやんの毛皮に包まれた眞紅な林檎の様な艶々しい頰をみては、流石に師走の鬼の眼にも我を忘れて微笑まうといふもの、げに子供の世界には冬は無いだらうか——

◇

「小父さんいらつちやい——」一部屋に六、七人、足も未だ確かりせぬ三つ位の子供まで揃つて激へ込まれた挨拶に迎へられ記者は部屋に入つた、此處は市内若狹町に在る本願寺經營の大慈園の子供部屋だ。子供を抱えては働けない氣の毒な親等の爲めに託兒所として設けられたこゝは、目下生後三月の乳兒六人のほか上は尋常五年生の十三歳まで三十三人の子供を預つて楠主事ほか保姆八人、看護婦一人の手で世話して居る。

◇

楠主事は語る

當所は託兒所本來の意義から、貧民に親の手足纏ひになるのは嬰兒ですから乳呑兒を預るのを目的としてゐますが、本年八月末若狹町から常方へ移つて來てから家が狹く現在三十三人で滿員の有様です、併し近來毎月二十二、三名の託兒申込があります寒夏は少いが秋から冬にかけてずつと殖え最近特に不況の影響を受けてか著しく増加致しました、御覽の通り今は一杯なので豫約簿に書入れておいて一人でも空き次第順次にお預かりする事になつてゐます、頼みに來るのは大抵母親で人目を憚つて夜訪ねて來ますが、それぞれ事情を訊してみれば夫に死別れ遺された幼兒を預け自分は女中や女給として働いてゐるのや、新婚間も無く妻は病氣となり自分は失業しせめて就職するまで預つてくれと頼んで來る人などで、いづれを聞いても貧故可愛い子供を手放すので私共も始終泣かされてゐますが、それにつけても何とかしてせめて五、六十人位の收容力あるものに擴張したいと思つてゐます、お正月を控へての歳末になつてから既に九人の申込者がありました

◇

「後六つ寢たらお正月でお餅が食べられるんだよ」彼等はブリキの汽車を取圍んで溫柔しく遊んでゐる。

——親無い雀も來て遊ぼ——

悪戯盛りの彼等が朝晩顔突き合せながら不思議なほど喧嘩は無い、洩れ入る師走風に寢醒め勝ちの朝眠れた乳房を探む母の心は何にか嘯ぐ。(寫眞は部屋にて自習中の子供等)

大那翁が愛息に 贈つた美事な首飾

紐育に現れて大評判

大那翁がその愛妻マリア、ルイザ皇后との間に生れた一人息子ライヒスタート公に贈つた有名な首飾りが最近當地へ持來され私的觀覽を許したので非常な興味を起して居る。此の首飾りは金銀の臺に四十七個の大ダイヤモンドを鏤めた實に美事なもので

價額百萬圓 と稱せらる此の首飾を繼承した現在の所有者は矢張りマリア、ルイザ皇后と同族の墺國の大公夫人マリア、テレサで本年七十四歳になるが若い頃には宮廷の儀式毎に好んで掛けたもので歐洲各宮廷に普く知れ亘つて居た重寶であつた。首飾りと一緒に那翁の皇后マリア、ルイザの遺言書の原本を添へてあるがこれによると首飾りは大戰當時の墺帝フランツ、ヨセフの母ソフイー皇后に遺贈する旨が記載されてゐるその後ソフイー皇后は之を第二皇子カール、ルードウイヒ大公に傳へ大公から更に現所有主たる未亡人マリア、テレサに遺されたのである、右の外駐英墺國公使ワシプー、ルンの證明書、首飾りの由來を記述したマリア、テレサの書翰及び

舊墺國宮廷 の押印ある繼承に關する文書なども添へてある、更に面白い事には贋作に當つた寶石商ニツトーなるものから那翁に差出した代價請求書迄も備はつて居る事だ。當時那翁はたつた一人の愛息の爲にと世界中の主なる寶石商に命じて最良のダイヤモンドを集め出來上つたのは右の首飾であると(ニューヨーク發聯合)

旅順の變電所竣工

永い間堪え忍んで來た旅順の電氣も愈々二十一日から旅大間の統一に依つて明るくなる事になつた、寫眞は之が爲め本年の八月から旅順の元寶町現發電所の後方山岳に建築された變電所である、總建坪百二十五坪經費五千圓を要し二千キロの送電が出來る、三十日竣工を爲したので二十一日中里技師其他各關係者の實地檢分を了つた

南太平洋に 女天下の日本島

トンガ群島の話

南太平洋の眞中にトンガといふ小群島がある、こゝの社會組織は古代日本のそれと非常に良く似た所があるとカリフオルニア大學博物館主事ギフオード氏はいつて居る ギフオード氏はトンガ群島の人類學的研究に九ケ年を費し其の研究が最近「トンガの社會」と題し當地ビショプ博物館から出版された それによると今から九百年ばかり以前日本人がトンガを始め南太平洋諸島一帶に移住して其の

支配的勢力 の一となつたものらしくトンガ及び其れに續くポリネシア及びミクネシアの諸島には古代日本をしのばしめるものが多く政治に於て國王の外に國政をあづかつてゐる將軍や執權職などに相當するものがある、祖先を崇拜する風も厚く神の血統を引く後裔であることを誇りとし、其の祖先を氏神として祭祀してゐる それから國王乃至大酋長を山陵に葬る風も日本と同樣である、神話傳説などにも日本と一致する所が多い、然しトンガ地方では上下を通じて女性の勢力が遙かに

男性を凌ぎ 所謂嬶天下の社會となつて居る、そして男は警察所仕事から洗濯、耕作等の雜務に就き女は裁縫、機織等の所謂技術的な仕事を分擔してゐる(ホノルル、發聯合)

次の長篇小説

元旦號より連載

目下本紙に連載中の小説「愛慾の戀」は好評の裡に近く終結を告げますので、我社は愛讀者各位の御期待に副ふべく現代文壇の寵兒三上於菟吉氏に交渉しました處長篇小説『戀と地獄』の執筆の快諾を得挿畫は肖像畫家中の新進鶴田五郎畫伯の彩管に俟つ事としました、必らずや大方の好評を博する事と信じます

長篇小説 戀と地獄

作者 三上於菟吉
挿畫 鶴田五郎畫伯

作者の言葉

僕の爆露文學はこの「戀と地獄」で自分としては一段に現代東京が含む一切の烈しき美と力との渦卷、それに捲き込まれて押し揉まれる小さき淸き幾つかの生命に就いて、出來るだけの描寫を試みる決心だ。僕は讀者の後援が、あくまで素志を貫徹せしめられんことを望む。

米大統領の 事務所全燒

【ワシントン二十四日發電】本日午後六時大統領官邸白堊館に隣接してゐる大統領事務所より出火し支内自動車ポンプ總出で大騷ぎを演じた、出火の原因は電流からだと傳へられてゐるが、火の手は折柄の强い西風に煽られ忽ち事務所の建物全部を包んだ、フーヴァー大統領は三名の秘書及家族を督勵し重要書類は總て持出された

上京の途上 大汽社長怪我

【靜岡二十五日發電】大連汽船社長安田柾氏は二十五日一二等特急にて上京中、靜岡縣袋井中泉兩驛間にて下り列車と擦れ違ひの際、この列車の方向板のため窓硝子を破壊し、その破片にて傷を負ふた靜岡驛より醫師を同乘せしめ治療を加へてゐる

けふのラヂオ

昭和四年十二月廿六日(木曜日)
自午前十一時 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)ニユース
自午後零時三十分 相場(特産、錢鈔、各地相場)ニユース
自午後三時三十分 相場(特産、錢鈔、株式各地相場)ニユース
自午後七時
一、ニユース
二、謠曲 鉢の木 岩村櫻處
三、箏曲 銀世界 箏富森大檢校 同高木夫人、同宮森よしえ
四、戲曲朗讀 慈圓の鳳 田代贇二
五、淸元 吉原雀 淨瑠璃多波羅 三味線淸元延園松、同多波羅夫人
六、義太夫 心中天網島新地茶屋の段 太夫鳴海松若 三味線竹本旭勝
七、支那唱 激子 唱馬金子、師付楊樹亭
八、料理獻立
九、天氣豫報

第貳拾五回決算公告
貸借對照表(昭和四年十一月三十日現在)

資產之部	
未拂込資本金	六五〇,〇〇〇.〇〇
銀行勘定	二〇七,三四三.九六
建物機械器具什器	五五五,七〇七.〇三
擔保金	一八,三四〇.九六
未經過保險料	一,五〇四.八六
原料、製品、仕掛品	二〇一,四五四.〇三
用品	二六,六八六.四〇
得意先	三三三,三二七.〇八
假拂金	五五,四三三.五四
現金	一,〇三三.四一
合計	一,五〇一,八六八.九九

負債之部	
資本金	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇
前期繰越金	二一,四五五.三三
法定積立金	二一,〇〇〇.〇〇
別途積立金	五五,〇〇〇.〇〇
社員退職手當基金	一五,〇〇〇.〇〇
仕入先	三三一,七五四.四〇
假受金	六三三.六三
未拂金	一一〇,三三八.四〇
借入金	二三〇,一三三.七〇
未拂配當	八八七.〇二
身許保證金	四,一五五.二四
當期利益金	一〇,五五三.〇四
合計	一,五〇一,八六八.九九

右之通リニ候也
昭和四年十二月
滿洲製麻株式會社

滿日地方版

安東

組合を組織し目的を達成
許可あり次第工事に着手 二千町歩の水田計畫

希望婦人會募集の献金額六百餘圓
涙ぐましき一守衛の赤誠

支那人向市場 山縣氏が新設

國境雜聞

…滿洲工業補習學校では二十二日午前十時より午後四時まで講堂に於て生徒の製作品展覽會を開催したが出品數百十數點に達し總額五百五十餘圓あり豫想外の好成績であつた

◇

二十三日安東署へ安東在住無名…

哈爾賓

滿鐵吉武氏の遭難模樣判る
廿二日漸く音信到着

ハルビン滿鐵事務所出廻り主任吉武男氏が滿洲里に於て奇禍に遭ひ交通杜絕のため現在も尙滿洲里に在るが、去月二十八日の發信が廿二日運輸課長のもとに廿二日到着、それによると十六日夜滿洲里に着いた處十七日露支交戰し十八、九日激烈となり餘儀なく日本旅館に宿泊、田中領事の指揮を仰ぐことになつた、旅館の二階で朝飯をしてゐた所砲彈が頭上から落下し破片のため右手を負傷、頭、顎部に負傷を負ひ辛ひ生命には別條はなかつたが、右手以外は一週間で全快したるも右手は全癒せず目下日本醫院で療養中である 廿六日から田中領事のロシヤ側への交渉で音信することが許されたとあり、當時朝食中の下村總督府事務官は上衣のポケットからズボンのポケットに破片が這入つたがスツと拔けたのみで輕傷をも受けず旅館の女中で九州熊本縣天草生れ尾崎フジヨは腦天に破片を受け即死した

國際列車一行懇親會

國際列車の日本側代表一行東京松岡氏、小林大每、鈴田大朝、藤士哈日、神藤滿日、大藪、堀江滿鐵の諸氏は廿二日午後二時から武藏野で一行の慰勞懇親會を開催し、十日に餘る車中の勞を散じ和氣靄々裡に五時散會した

大石橋

…氏より金十五圓の國債償還基金として献金があつた

◇

北平警察部武道納會は來る二十七日午後一時より道場に於て開催される筈

銃劍術の猛競技
一等第四中隊

當地守備歩兵第三大隊の銃劍術競技會は廿四日午前十時より午後三時半に至る五時間半の長時間に亘つて行はれた、此の日の優勝者たるべく各中隊とも猛練習を續け來つた丈けあつて試合の猛烈さは觀る者をして思はず汗を握らしめた午前午後を通じ終始肉彈的接戰の大緊張裡に午後三時半競技會は終りを告げたが、其成績は一等第四中隊、二等第二中隊、三等第三中隊、四等第一中隊の順序である

母の會盛況

幼稚園の母の會は廿四日午後一時より小學校講堂に於て催された、暮の忙しさに拘らず母と幼兒で滿員の盛況、原田矢吹の兩先生は申すに及ばず河內夫人や其他の夫人方の努力で準備は完全に出來た可憐なる幼兒の挨拶歌、舞踊、何れも手に入つたもので觀衆毎に急霰の如き拍手は堂も破れんばかりであつた、最後に園長として谷口校長の講話あり少なからず感動を與へた、終りに伊藤父兄會長の挨拶あり無事解散したのは午後三時半頃であつた

奉天

一週間に三萬圓
好成績の畜産週間 經濟會支部の活動で

滿洲公私經濟會奉天支部では去る十五日より一週間貯金週間として實行し廿二日を以て第一回を終へたが奉天郵便局に直接預け入れたもの又は局員の戸別訪問で取纏めたものを合して二千七十口、金額三萬一千三百四十九圓に達した、その中一萬四千三百五十五圓は勸誘貯金で勸誘貯金は簡易保險四十口、年金貯金一口であつたと

石炭檢斤 不足が多い

奉天署では廿四日第三回の市內運搬馬車の石炭檢斤を行つたが滿洲炭礦公司は四袋とも廿七貫、撫遠炭礦は四袋とも百目乃至一貫目不足、日公議號は三袋中一袋は五百目不足、順天號は四袋中三袋は一貫目宛不足で以前より漸次良好の成績を擧げつゝあると

消費組合問題 近く具體化

滿鐵消費組合問題になつてゐる滿鐵消費組合に關し廿四日遼陽の實業協會並に輸入組合兩名で奉天商議に對し、消費組合は市民側に買ひ受け經營すべしであるといふ議題項目を擧げ賛成方を申出て來た、之に對し奉天商議では過般開かれた役員會議の結果重要問題として講究されつゝあり未だ何等具體的方法は決定してゐないが、近く具體化するものと觀られてゐる、一方奉天輸入組合でも該問題につき役員會を開き對策を講ずる筈である

支那料理屋で大亂鬪

支那妓女の奪ひ合ひから亂鬪をなし傷害の告訴を奉天署に出した話 市內平安通り十九番地請負業原組使用水道工內振東は廿二日午後六時頃同僚の李春亭と共に藤浪町貸席事樓に赴き飲食をなし、更に午後九時頃同町四番地支那料理店同樂班に登樓し妓女金玉を敵娼として宿泊することになり、遊興費を前拂で濟まし泊り込んでゐた處、廿三日午前二時といふ眞夜中奉天消防隊消防手白某（二）及び朱錫民（二一）といふ兩名の支那人がその部屋に入り込み、白は「自分は金と馴染である直に出て行つて貰ひ度い」と云ひ出したので周も「おれも金と馴染だ、しかも遊興費は前拂でちやんと濟んでゐるのにどうして歸れるか」と答へた、然る處白は大いに憤慨し遂に朱と共に食器をなげつけるやら椅子で毆りつけるやらの大亂鬪が始まり、周は兩名に毆打されて全身に全治一週間を要する傷害を受けたので遂に白朱の兩名を相手取り傷害の告訴をなしたものである

◇

二十三日午後十一時半頃富士町藤原氏宅階上のペーチカ下より發火したが大事に至らず消し止めた損害約百十圓

◇

金龍亭の富美子といふ藝妓は許可證なく大連に一ケ月も前養に行き歸奉の途中二十三日十一號急行列車內で發見さる

◇

大連小崗子居住滿鐵列車ボーイ劉德賢（二一）は二十三日下り急行十一號列車で阿片二包（六三目）を長春方面に密輸中同日四時四十分頃新臺子驛附近で取押へられた

◇

錦縣生れ住所不定、無職趙香閣（二八）及び登州生れ無職、王春喜（三八）の兩名は廿三日午後四時頃納堅町倉庫內から單衣十六枚外數點價格廿六圓を窃取し某方に隱匿せるを發見逮捕され目下取調中

人事

▲森島奉天領事 廿四日朝旅順より歸奉
▲中村少將（第十九旅團長） 廿三日奉長春へ
▲杉村陽太郎氏（國際聯盟代表） 廿四日過奉撫順へ
▲市川滿鐵々道部次長 二十四日大連へ
▲妹尾大佐（學良氏軍事顧問） 廿三日長春より歸奉

町の便り

▲張學良氏秘書王家楨氏は二十五日午後六時日支新聞通信記者を公邸飯店に招待し懇親宴を催した

醫大交換教授

滿洲醫大では左の通り交換教授を行ふことになつた
一、演題 角膜軟化症及その他のヴイタミン缺乏症兆候について
二、講師 北平協和醫學校眼科教授ピラト氏
三、期日 一月八日から三日間毎日午後三時より一時間
四、會場 滿洲醫大本館第五講堂

美しい献金

奉天高女校一年い組生徒中野茂子外四十九名は毎月一番ケ宛の雜誌をやめ各自の小使を節約して貯へた金廿八圓を國庫献金として廿四日奉天署に屆け出たものである

撫順

貯金や內地送金例年よりも激增
郵便局廿三日の成績

本年もあと數日と迫つた撫順郵便局の忙しさは眼がまはるやうで[illegible]四年度の最高記錄を現出局內公衆溜所は身動きも出來ぬ程を洗ふ如き狀態で一方局員も草野局長以下連日連夜非番も休みもなく徹宵猫の手も借り度ひ位の繁忙振りを示してゐる、まづ二十三日のみの貯金受入口數三百五十五口で預入金額四千〇十三圓二十九錢、昨年同日の三百六十二口二千八百十四圓六十七錢に比すると一千百九十八圓六十二錢の激增を示しこゝにも緊縮の影響が如實に現はれてゐる、亦滿洲の野で働いた金を內地の親兄弟に爲替で送金した額がたつた同一日のみで一萬〇七百三十九圓九十六錢、昨年同日の八千九百二十四圓四十六錢に比して是も一千八百十五圓五十錢の增加、爲替受入口數は二百二十九口の二萬〇百二十一圓七十三錢で昨年同日の二百〇三口一萬四千九百八十六圓十五錢に比して五千百三十五圓五十八錢の增加、一方同日の拂戾しは昨年同日の三十六口六千〇二十四圓六十一錢なるに對し本年同日は三十口一千五百四十七圓五十五錢で四千四百七十七圓〇六錢の節約振を現してゐる、何れも公私經濟緊縮とか家庭經濟の合理化等の聲は單に掛聲ばかりでもなく偽らざる郵便局の窓口に前記の如く現はれてゐるのは緊縮の師走として見逃し難い現象である

誘拐犯人逮捕

二十三日十八時四十分撫順驛に於て列車の發車せんとする際婦人連れの二人組怪漢があるので乘り遲れた一人をひつ捕へ取調べると山東省武定府千金支那町高玉秀（三〇）と云ふ婦女誘拐常習犯で同日も李某（三〇）と共に鐵道南支那料理屋同樂堂方酌婦花穗と云ふ現大洋八百元で抱へた俳優を誘拐奉天に轉賣せんとする處を逮捕されたもので被誘拐者と云ふ某はその列車で奉天に行き目下行先不明

遼陽

遼陽更生の爲め實業青年團生る
廿五日公會堂で發會式

遼陽工場の沙河口併合移轉は人口數に於て三百餘戸を減少することになるが、遼陽は市況振はず在住民の大部分は滿鐵中小實商人の思惑外にあり、殊に年末に際し報傳はるや市民の驚愕一方ならず直ちに市民大會を開いて委員を選出し二回滿鐵本社に出頭幹部に

突如として

窮狀を陳ぶると同時に打開策に付講究中なるも、差當つて工場從事員及び家族約一千名に代る名案もなくつゝあり、此の時に於て市中の青年實業家は猛然として更生の策を一般に立つべく廿三日夜公會堂に於て有志會合協議の結果青年實業團を組織することになり、廿五日午後一時から公會堂に於て發會式を擧行した

遼陽實業青年團組織の趣旨

鄕土福利增進に邁進せんとする時に當り之を誤る者は彼相の平和主義にあり、吾人は必らずしも論爭を好むものにあらず否平和を好むものなり、然れ共爭はずんば平和を得るに難きを如何せん、今次滿鐵會社が敢行せんとする遼陽工場撤廢問題は在住者五千を有する平和鄕に二十有年來築き上げし經濟關係を根柢より覆さんとす爆彈を投ぜしと云ふも敢て過言にあらず、滿蒙に於ける鐵道附屬地の施設行政に統治權を委ねられ居る滿鐵會社が營利本位の合理化と稱し大衆の使命を沒却して植民分布に依る經濟機關を豫告もなく閉鎖するは吾々在住民としての致命傷的脅威は之より大なるはなし、眠ぜんか今ぞぜられし一石の波紋は全滿在住者の安住を阻害する源泉とならん、眠する能はずせんか故國が國策を遂行せんとする道程に暗影を貽すを如何にせん、默する能はず、先輩諸氏の意志に添ひ陰に陽に一團となり目的の達成を計るべく玆に實業青年團を組織し、光輝ある故國の發展を期せんとす

除隊兵 廿七日出發

遼陽駐剳[illegible]第廿聯隊及の滿期兵約三百名は、八時五十分發列車で出發歸還することになつた、在るべく多數見送りありたし

吉林

▲周四洮鐵路局長 二十三日夜四平街へ

關朝璽氏來吉

前熱河都統關朝璽氏外吉遼兩省軍政界の要人百餘名を糾合して資本金一千五百萬元の「鏡泊湖水力發電公司」を組織し、吉林政府に請願の上許可を得た次第は既報の如くであるが、右關朝璽氏は該發電公司の事業着手其他若干事務に就いて張作相首席と商議する必要ありと稱し去る二十一日奉天より來吉目下滯在中である

おめでた

吉林邊防副司令官公署參謀長兼省政府委員熙格民氏令嬢清君（二三）と本縣紳士史家女子との現代的自由戀愛結婚成立し愈々二十二日の黃道吉日を擇んでお興入れを行つたが、同日午前十時より省城に於ける軍政各機關の首腦者及石射吉林總領事等を通天街の本宅に招きて披露宴を催した尙在長春吉長鎭守使李桂林氏及哈爾賓護路軍司令部參謀長趙鉦鼎氏等も祝賀の爲めに來吉し非常に盛大であつたと

本溪湖

新署長歡迎宴

新任清水署長の歡迎宴は料亭寶山に於て開催せしが歲末酷寒の際に拘らず出席者多數にて席定まるや塘所長の歡迎辭に對し清水署長の答辭ありて閉宴非常なる盛會であつた

甲斐地方係長着任

開原地方事務所より地方係長として新任せし甲斐正治氏は新任挨拶の爲め各方面を歷訪した

開原

百餘戸の鮮人虐殺
鬼畜の如き支那兵ども

このほど露支兩軍の戰鬪を逃れて虎林縣から間島百草溝管內羅子溝老母豬河上村に來た鮮人金某は、虎林縣城附近の東興村に於て支那兵が百餘戸の鮮人を虐殺した時の目擊談といふのを齎した、それに依ると十一月二十七日未明に露領イマン駐屯の露國騎兵五百餘騎が同地を距る西方約五里の虎林縣城を襲擊し同地支那軍警約一千名の半數を死傷せしめ去つたが其の際逃亡してゐた支那軍は露軍の引揚後歸城するに方り虎林縣城の北約三里の東興村を襲ひ露軍が來たのは同地居住鮮人が支那軍の兵力及び警備の狀況を密告した爲めであると稱して、百餘戸の鮮人を虐殺し全村を殆ど全滅せしめたうへ掠奪したので現存者及び部落東海濱居住鮮人二十餘戸は財産を放棄して饒河縣及び寧安縣に避難したとのことである

愛慾の窓（199）
戸川貞雄作 淺枝次郎畫

審判（九）

突然、裏手にあたる墓地に起つた深夜の銃聲は、寺の庫裡に圍爐裡をかこんで不安さうな瞳をつき合せてゐた人々を驚かした。

「……何の音ぢや！」

と、顫え聲で叫んだのは、今しがた和尙や納所坊主共と一緒に、墓地のなかに倭文子の姿を探し歩いてゐた彼女の伯父で、友永亡き後は、萬事を後見して友永家を盛立てゝゐる老人である。小森英輔から、倭文子家出の報があり、もしそちらへ行つたら引止めておいてくれ、小森鋼山の所用片附き次第お訪ねするといふ書狀があつて間もなくその夜近所の人が驛に汽車から降りた倭文子の姿を見掛けたといふ知らせと同時に、驛前で俥をやとつた樣子だと聞いたので、それでは幸だ、友永の墓所だと、驅つけて來た仕儀なのである。

「……何ぞ音がしたかの？」

耳の遠い老和尙が、誰にともなく訊き返したが、笑ふものさへない、それほど一同は肝を潰してしまつたのである。誰も顏を見合せたまゝ座を立つものがなかつた。しかし銃聲は一發きりで、後には何の物音もない。

と、不意にがらりと入口の引戸が引開けられたので、皆はさらにぎようとなつて、體を互に寄せ合ひながら、しかし體丈は頑丈な寺男が

「……誰ぢや！」と聲をかけた。

「……御免下さいまし！友永さんのお墓所はこちらさまでせうか？」

女の聲だたから、かういふ場合一入不氣味に思はれて、納所坊主は眼をつむつた。

「……南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經……」

と口のなかでお題目である。

だが、靜かに引戸から土間へはひつて來たのは、洋裝に雨外套の若い女であつた。――仁科美知子であつた。

「……さうです、こゝは確に友永家のお寺ぢやが……」

と、やゝおちついて、伯父は審しさうに美知子を眺めやつた。

「……わたくし……友永さんの倭文子さまのお友達なので御座いますが……今、東京からまゐりましてね、伯父御さまのお宅に伺ひましたらば……こちらへお出掛けだと伺つたもので御座いますから」

美知子は云つた。

「それは〳〵……わしがその伯父ですが……倭文子の消息でも持つてきて下すつたのかな」

と、伯父は膝を立てた。

「……ま、さうでしたか……」と美知子は會釋したが「……わたしの方こそ、倭文子さまの御消息を伺ひに上つたわけで御座います！倭文子さまからのお手紙で、吃驚して……取るものも取り敢ず、飛んでまゐつたのです……愚圖々々してゐると、あの方自殺なさる虞があります……」

自殺といふ言葉に、今切のやうに不安な氣を新たにされたが

「……さあ……只今も墓地の方で拳銃を擊ちでもしたやうな音がしましたが」

と、納所坊主は肩をすぼめた。

「わたくしも聞きました……吃驚して駈込んだのでしたが……」

美知子も不安と恐怖の聲をひそめた。

「……みなさんと御一緒に見にまゐりませうか？」

「さうですなあ……」

途端に、再び引戸は荒々しく引開けられて、どたりとばかりに、そこへ倭文子が轉び込んで來た。

「あッ……倭文子さま！」

美知子が、誰よりも先に倭文子の體に縋りついた。

「……おゝ、美、美知子さんですね、よく、よく來て……」

倭文子は喘いだ。

「……よかつた！あなたよく生きてゐて下さいましたのねえ！」

美知子も喘いだ。

「いゝえ！わたしのことどころぢやない、ないんです！早く行つて下さい！墓地で、あなたの弟さんが……自、自殺……」

新刊紹介

▲婦人俱樂部（新年號） 幸運を摑んだ婦人の出世物語、吉野の川上に稀代の節婦を訪ふ（上司小劍）一世の師と仰がるゝ名人座談會、婦人の身嗜みと美容に就ての座談會、新年料理三十種、菊地氏の小說として鶴見氏の「子」菊地氏の「父なれば」佐々木氏の、美人自叙傳「其他多數ある外「新時代婚談と婚禮一式並に結婚生活」「流行新型家庭實用編物」の二大附錄あり、三冊合せて八十錢とは驚くべき廉價と云はねばならぬ（東京市本鄕區駒込林町四六、大日本雄辯會講談社發行）

▲女人藝術（新年號） 全女性進出行進曲當選歌詞を發表してゐる本號は殆んど外人作家の特輯號と稱すべく小說思潮其他に約二十篇の論策が掲載してありすべて婦人の譯出で百花繚亂の概がある（時價金五十錢、東京市牛込區左內町三一女人藝術社發行）

▲實業の世界（新年號） 三宅博士の「大馬字を行く」野依社長の受難より受編へ」其他活氣ある讀物滿載（定價金三十錢 東京市芝愛宕町三ノ二實業の世界社發行）

▲實業の大阪（新年號）「明るい東方君子國」島總の正體は哀れ低能兒」其他（定價金五十錢、大阪市住吉町阿部野通八丁目十四番地實業の大阪社發行）

▲西方の人（芥川龍之介氏作） 芥川氏の遺著で悉く晚年の作、三つの窓、手紙、冬、古千屋、たね子の憂鬱、十本の針、闇中問答、或阿呆の一生、西方の人、後西方の人の十一篇を收む、すべて氏の晚年の傷ましい生活を反映してゐるが殊に齒車の如きは作者の暗涙をそゝろに人に迫るを感ぜしめ氏を愛する讀者の同情を禁じ得ないもののみである（定價貳圓 東京市神田區一ツ橋通三番地岩波書店發行）

▲トルストイ全集（第二卷）「侵入」「コサック」「セヴストーポリ」「林を伐る」「陣中の邂逅」等戰爭父子を含む、右の內「コサック」は人も知る通り杜翁作品中最初の連山の最高峰として聳へてゐるばかりでなく最も美しい抒情的小說として有名である「セヴストポリ」は戰爭小說として代表的なもので、世界戰爭文學中の白眉と稱されてゐる（豫約品、東京神田區一ツ橋通町三番、岩波書店發行）

▲戰前時代（十二月號） 定價金二十錢、奉北市西門町二ノ一三藤原方無軌道時代社發行

▲外務軍事情（外務省通商局編

滿日俳壇募集規定

次回課題「多の月」「毛衣」「千鳥」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十二月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先東京市牛込區若松町八二、島田青峰宛

夕刊
滿洲日報
十二月廿五日
發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社滿洲日報社

兩國全權間に調印せる露支和平議定書の内容
勞農全權の强硬なる態度に支那側の遷延策敗る

【ハルビン特電二十五日發】露支豫備會議は去る十四日から哈府に於て蔡、シマノフスキー兩全權間に交渉進行し十九日大體の協定は成立し一、二の問題を殘し調印の間際までこぎつけたところ、蔡全權は

余は貴國政府の希望條件を聽き全てを正式會議によつて解決するやう訓令を受けおれば細目に亘る内容を含む今回の條件に對し調印し難し

と最後のどたん場において突然に支那式外交を以て遷延策をとり正式會議を口實に二十日哈府を出發せんとした所、シマノフスキー全權は

貴全權は本議定書に調印することに同意を與へ直に效力を保有すべきである、もし之を認容せぬならばロシア政府は直に第二の軍事行動に移るの餘儀なきを遺憾とする

旨を宣告し反省を促したが交渉は一時停頓し哈府と奉天との聯絡電話は中絶するに至り遂に二十二日豫備會議議定書に調印するに至つたと傳へらる、議定書の内容は

一、支那政府は七月十日前の東支原狀回復を承認し
二、新任正副管理局長ルーディ、デニソフをロシアの推薦に同意すること
三、拘禁者の釋放は双務的としロシアは支那軍を國境外に没り支那は政治犯罪者と其他に區分し政治犯は國境外に押送す
四、軍隊は國境三十支里外に撤退するに同意す
五、露支兩國政府は國家の代表機關として領事館の絶對權を承認し現に閉鎖中の露支領事館の復活、ロシアの國營機關開設を認め、ロシアはロシア領内におけ　る支那僑民團の自由を許し、支那は東支のロシア勞働組合を認む
六、兩國軍隊の國境三十支里外の撤退
七、一月廿五日までに兩國全權を決定するに同意す
八、白系ロシヤ人の支那官憲に採用さるものにして露支紛爭の工作に關係したものの解雇を要求す
九、七月十日以後、東支鐵道に採用せし露人を罷免すべし
十、東支鐵道從業員の歸國したもの又は拘禁されたものの復職を認め七月十日以後の給料を支拂ふ
十一、時局損害賠償は調査委員を組織して決す
十二、右全文は兩國全權の調印により効力を有することに同意す

とこれによつて六ケ月間紛爭を續けた東支鐵道問題は曲りなりにも解決した

東鐵幹部の辭任
露支數十名に上る見込

【ハルビン特電二十五日發】東支鐵道管理局にては二十四日范其光氏以下各科長會議を開きハバロフスクの交渉は成立し東支管理局長の辭任を見れば露支議定書の精神により七月十日以後のものは辭任し若し此際ロシア人にして無國籍人たると支那國籍を取得したもので自ら辭職せんとするものには退職手當を支給する旨を決定した露支幹部で辭職するものは數十名に達する由

公報未着
ドイツ總領事談

【ハルビン特電二十五日發】二十二日ハバロフスクにおいて調印された議定書に對しストツペドイツ總領事は未だ正式の公報に接せず且つ拘禁者の釋放につき何ら支那側より交渉なしと

露總領事等近く赴哈

【ハルビン特電二十四日發】蔡全權の歸哈の際、メリニコフ勞農總領事とコーコリン氏らが來哈する筈

東鐵理事に
ダ氏復任決定

【ハルビン特電二十五日發】大連に滯在中のダニレケスキー氏は東鐵理事に復任するに決し招電された

英米兩國も嚴重交渉
投資損害甚大

【ハルビン特電二十五日發】海拉爾、滿洲里に於ける英、米の投資は相當巨額に達し若し此儘依然として同地の狀況が不明の場合は英米、佛總領事としても責任があるので何とか第二段の方法が講ぜられる模樣であるが、英、米保險會社方面の滿洲里、海拉爾方面に契約された總額は約五百萬元に達し

米國は煕業銀行を通じ海拉爾には蒙古貿易公司あり一千萬元程度の投資額を有するので非常に心配されてゐる、支那側は軍隊の與安嶺撤退後赤軍指揮のもとに掠奪されたと報じてゐるが、支那軍が退却する時に掠奪したものだとの説が强く、態々海拉爾との聯絡がつき果して掠奪の如く掠奪をされてを調査の結果により嚴重支那側に交渉する方針であると

地中海保障條約締結に贊成
伊の對佛回答内容

【パリー二十四日發電】フランス外相ブリアン氏の海軍問題覺書に對する二十一日附イタリー政府の回答要旨は左の如くである
一、列國の保有すべき海軍最小噸數は各國々防上の第一義的必要に基き算出すべしとのフランスの主張に對しイタリーは抗爭せず
二、イタリーは地中海保障條約の締結に贊成する、但し右條約は佛、伊、英三國間の交渉に依り締結し、スペインに提示して署名を求めて後、地、海に利害關係を有する各國に送附して批准を受くべし
三、アフリカの佛領ツニシアに在るイタリー人保護問題、リビア國境協定等についてはイタリーは伊、佛兩國間の直接交渉に依り解決するを希望する

若槻全權
ス長官より答電

【ワシントン二十三日發電】國務長官スチムソン氏はオリムピック號で大西洋航行中の若槻全權に無電を以て余並にフーバー大統領は當地で行つた商議に滿足し尚其際の率直な意見交換が多大の利益を齎した事を信ずると述べて若槻全權の謝電に對する答電を發した

一方的に治廢せば戰爭をも辭せぬ
日英米佛の態度强硬

【北平廿四日發電】治外法權の一方的撤廢は茲一週間に迫つたが之に對する列國側の意嚮を見るに該宣言に於て多少實行性ある過渡的辦法を附し二三小國の贊同を得る事あるにせよ日英米佛等の主要國は一方的撤廢そのものを頭から問題にせず萬一支那側が單獨撤廢を執拗に迫るに於ては戰爭行爲に移るも已むを得ないと强硬なる態度を持して居るので治外法權回收宣言も何等影響なき叫びに終るものと樂觀してゐる

新事業計畫よりも先づ調査が肝要だ
政界とは三年前緣を切つたよ
けさ入京の仙石總裁語る

【東京特電二十五日發】仙石滿鐵總裁は既報の如く豫定通り同廿五日午前七時廿五分東京驛着列車にて歸京した、驛頭には朝野の名士多數出迎への上、總裁は直に麻布の私邸に入つたが目下中央政界では所謂解散問題等について仙石總裁は相當關係あるもの〻如く場合によつては濱口首相に之を進言するに非ずやと噂されてをるだけに同總裁の上京は各方面の注目を惹いてゐる、總裁は途中國府津迄出迎へた本社記者と左の如き問答を交はした

記者　色々お土産話があると思ひますが
總裁　無いな、何しろ二ケ月ばかり滿洲にゐたばかりだから
記者　面白い話はありませぬか
總裁　面白い話なんかない、それより昨今の世相は悲しいことばかりぢやないか
記者　二ケ月を滿洲に居られたのだから何か新しい計畫があるでせう
總裁　計畫よりも先づ調査だ、滿洲や滿鐵のことを知るばかりでも大變だが實際に當つて調査の出來ないことが澤山あるよ
記者　昭和製鋼所の問題はどうなります
總裁　之もまだ調査を要する點が多い、例へば原鑛石の問題でも四億噸はあるといはれてゐたが今日迄實際に調査の出來てゐるのはまだ二億噸に過ぎない、それ以上の事は果してどの位あるのやら、無いのやらハツキリ調査は出來ないネ
記者　さうすると直ぐには實現出來ぬといふのですか
總裁　そんなことはいへぬ、然やるか、やらぬかといふことは大株主たる政府其他とよく相談した上でないと判らぬ、故に今度は相談して見る積りだ
記者　二億噸しか無いとすると計畫半減といふことになりますか
總裁　さう簡單に定めてか〻るべきものぢやない
記者　職制改革問題は如何です
總裁　之も尚調査を要する、よく調査した上でハツキリしたことを定める
記者　吉會鐵道その他の鐵道敷設の問題は
總裁　餘所の國のことだ深切の押賣りはいかん、いくら双方のためだといつても無理に强ゆべきことぢやない、おかしな譬へだが若し女を口說くのに無理强いをして見給へ、振られるに極つてるさ、こんなことは向ふに氣がある、こつちにも氣がある、そこで何かの切つ掛けに情意投合するより外はないではないか
記者　滿鐵豫算は大體、前年度の踏襲で別に緊縮もしないやうですネ
總裁　政府の豫算などとは譯が違ふ、まあ現狀のままやらせて見るといふだけのことす
記者　露支紛爭のお蔭で滿鐵の收入が大變減したやうですネ
總裁　なに大したことでもないサ、餘所の國のドサクサ紛れに儲けたからといつて滿鐵の誇りでも何でもない
記者　張學良氏が何か日本側の投資について滿鐵に話があつたやうですが？
總裁　投資を申込んだのではない、日本の實業家と懇談したいといふので滿鐵公所に斡旋方を頼んだのだ
記者　總裁は議會の解散問題について何か御意見があるとの噂ですが？
總裁　政界とは三年前に緣が切れてる今まで滿洲に居たんだから政府のことなんか分らんヨまた一切ふれもしないヨ
記者　でも減俸問題では觸れたぢやありませんか
總裁　ありや單なる政治問題についてはどんな御意見ですか
（以下）
總裁　僕には分らん、分らんだが解散した方がいいといふのでもありまんか
記者　朝野兩黨とも金がないから金の準備はあるかネ
總裁　金がなければ仕方がないネ
記者　問題ぢやありませんか
總裁　それはさうと東馬（久須美）はとんだことになつたネ
この時、汽車は東京驛に着いた

學位問題は來年三月に解決
稻葉醫大學長歸來談

【奉天特電二十四日發】稻葉醫大學長は學位問題で上京し文部省當局と打合せをなし此程歸奉したが同氏は左の如く語つた

上京するや否や文部大臣は更迭する拓務省も設置されたばかりで内部の諸事務の整理に追はれ、議會も開會前となつてゐたので各方面とも多忙を極めてゐたが、その間直接面談し打合せをなした結果文部省當局も非常に諒解して呉れた、ただ難案となつてゐるのは文制審議會の決議による學位は學位を授與する大學に認可權を與へ、その大學で學位を認可すれば文部大臣にはその報告のみで濟むといふ案であつたらしいが、滿洲醫大として部省としての意嚮を一旦解決した後植民地における大學の學位問題を解決しやうと云ふのが部省としての意嚮では現行規定即ち大學に於て學位授與に決定したものを更に文部省で認可する方法によつても解決を急ぐやうに申請したため遲くとも明春三月までには解決を見るやうにならうと思つてゐる

輸出入制限廢止
明年より効力發生

【ジュネーヴ二十四日發電】國際聯盟の輸出入制限禁止の協定は全部の調印終り日本英他十六國間に明年一月一日より有効となつた

議會守衛に訓示

第五十七議會の召集を前に二十一日正午貴族院前に守衛一同を集めて議會開會について石橋守衛長より一場の訓示を與へた

堀切さんの議長振
顏を紅くしてイタにつかぬ

【東京特電二十四日發】中村書記官長に伴はれた堀切新議長が演壇に現はれた刹那、民政、政友の議席を通して議場に霰のやうな拍手が爆發した▲偉大なる體軀をフロツクに包んで堀切さん顏を眞紅にして處女のやうに含羞みながらピヨコンと叩頭を一ツやつて、ポケツトから草稿を取出すや否や大きな聲で議長また叩頭をやつた、前議會豫算總會の名委員長も柔道三段の猛者も、此の處たゞ可愛らしい堀切さんだ、高木正年老が恒例によつて祝辭を述べる間、彼は小學生のやうに耳の附根まで眞紅にして行儀良く起つてゐた▲さて初めて此處で議長の椅子に腰を下す段々となつた、隣々とドツかとばかり腰を下すかと思ひきや、二分の一あたりの端に遠慮しい〳〵そうと腰を下したものだ、あの大きな體軀が半分ほど椅子から喰み出してゐる譯の紅味はどうやら收まつたが、遣り場に困つた双手は襟をつまんだりヅボンを摩つたり机の硯紗を撫でてみたり不安に點戲をやつてゐる▲「我々の若き議長として新時代の人氣を背負つて立つた堀切さん、なか〳〵如才に附かぬ體を持ち扱ひ兼ねながら萬事術らの中村書記官長と相談しい〳〵目出度く初日の役を勤めあげた（官僚は堀切さん）

荻川放談（137）
妥協（其三）

露支抗爭解決も愈々本筋に入つたらしいが、そのすべての解決は、來年一月廿五日を期して、モスクワで開かる〻露支會議に待たねばならぬとあつては、露支のことである、相互が御々に默々を捏ねて、容易にそれが纏まりそうもない心持もするが、さりとて此處に達したは、達せざるに勝る、どうか一日も速に兩國が打解けて、北滿洲に平和の來るを望む、更に進んでは、今度のことなんぞからして、國

べき。◇
東洋の平和を祈求する日本は、此正々堂々に組せんとす、どうだ支那と云はず、ロシアと云はず、其正々堂々で日本と提携し東洋の平和を維持せんとする眞心はなきか、此眞心だにあらば東支鐵に抗爭が起らぬのみか、邊疆で嚙み合ふ必要とてない、默々思考するに、露支間の平和は東支鐵問題に繋がるばかりと信ぜられずして、淵源は寧ろ邊疆に伏在す、差し當り蒙古問題がそれである、終には之が新疆なぞに波及すべし、而も今日此

露國も支那も新しき改革國なるが、露國は其革命の精神たる世界の赤化を、完全とは云へないが、少しぐらゐは實行し得べき程度に進んだ、外蒙古の赤化なんぞが乃ちそれで、此赤化は露國の國策が標榜するところを狙つて潜り込む、然るに支那の革命は國權恢復を標榜するに拘らず、其革命が纏らぬだけに、其國權恢復も皮相に走つて、肝腎の要點に手が屆かず、外蒙古の赤化を認めて徒らに眼をするも氣の毒だが、さればと云つて、國權恢復なる支那革命は何處々々までも進んで凝るところ

の赤化を集めると見せ、それから資金を絞つて財黨を肥えんとした、陰險な支那の大政治家もあつた、赤露國赤化勢力の外蒙古に延ぶるを認め、それが支持で、自己の權威を宇内に擴めんとした、横暴な支那の大軍閥家もあつて、國權恢復を標榜する支那革命に、國權蹂躙を招來すまいかと憂ひられしも、今はどうやら革命の立物たる支那政客軍人等間に斯る錯誤は一掃され、そうして寧ろ此邊問題に焦慮するものを生じたるが如し、東北四省官憲なぞがそれである。

無税減税種目
關税調査會審議

【東京二十四日發電】現內閣の下に於ける第一回關税調査會は二十四日午後一時半より首相官邸に開會井上藏相以下大藏、商工、農林、外務、拓務各省關係官其他委員幹事出席、井上會長の挨拶の後左の諸問事項を提出説明し今後幹事會に於て調査することとして三時半散會した

諸問事項第六號
左記關税審議會答申の事項に關する具體案如何
一、綿織糸、約三割五分の輕減、ミユール其他特殊の我國に生産せられざる物は無税
二、鐵鋼及鐵管無税
三、生糸廣東糸無税
四、牛肉無税
五、高粱無税
六、セメント半減

關東廳辭令（廿四日附）

依願免本官（各通）
關東廳理事官　本庄宗三
關東廳屬　平井齊三
關東廳事實局理事官　井上勇
命營關店民政支署長事務取扱

人事

▲鹿谷忱氏（奉天商工會議所會頭）ツネ子夫人同伴廿五日入港のうらる丸にて歸滿
▲小川順之助氏（關東廳殖産課長）同上歸任
▲佐藤勇助氏（關東倉庫主計正）同上歸任
▲志賀直哉氏（創作家）同上來連
▲里見弴氏（創作家）同上
▲値賀連氏（辯護士）同上歸連
▲井上輝夫氏（滿洲製麻會社專務）同上
▲大津誠雄氏（遞信局經理課長）同上

大觀小觀

市長問題、圓滿解決と、急轉直下することになる。石本さんも野暮はいはぬ老人だ。
◇
善隣は善處。面子は面子。
◇
だが、要は官場氣分の緊張一新にあり。
◇
關東廳の大地震、右遷、左遷、さま〴〵ならんもサク〳〵の好評とある。
◇
王正廷氏、時々一方的の手形を振出す。危險、危險、治廢手形、不渡にならずば幸ひ。
◇
今二十五日、多摩陵の御三年祭と畏し。
◇
明二十六日、第五十七議會は開會さる。嵐か風か。天機は漏らすべからずか。

天氣豫報

廿七日　南西の風晴れ後曇り

各地温度

	昨日最低	十一時
大連	零下九、九	同一、六
旅順	同九、七	同一、六
營口	同一九、〇	零下一、二
奉天	同二〇、五	同二、九
長春	同二五、六	同八、七

大正天皇祭遙拜式

大連神社において嚴に

大連における大正天皇祭遙拜式は二十五日午前十時より大連神社において擧行された、先づ祭員の修祓あり、水野社司恭々しく遙拜の辭を奏し玉串を奉奠して遙拜、次で祭員一同拜禮し、大連民政署長代理高田庶務課長、石本大連市長、滿鐵總裁代理藤根理事の順序で玉串を奉奠し、更に參拜者一同の玉串奉奠と遙拜ありて十時半式を終つた

天皇陛下親しく多摩陵に御參拜

=今日嚴かに行はせられた=

先帝御三年式年祭

【東京廿五日發電】大正天皇の英靈鎭しく多摩の御陵に鎭まりましてより三年、今日思出深き御三年式年祭の儀が皇靈殿と多摩陵とに於て嚴かに行はせられた、此の朝多摩の神域の邊り淺黄の幔幕が張り巡らされ參道の打水の跡もすがくしく

陛下の着御を

待ち奉る、午前九時御陵總門外には儀仗の甲府四十九聯隊の一個中隊が整列し、午前九時五十分高松宮殿下を初め奉り梨本宮、同妃北白川宮妃、竹田宮妃、閑院宮春仁王同妃、李王、同妃の各皇族殿下、大勳位總代山本伯、濱口首相、倉富樞府議長、牧野内府、元帥總代上原元帥、國務大臣總代松田拓相、前官禮遇總代清浦伯、樞府顧問官總代黑田長成侯、海軍大將總代岡田啓介大將、陸軍大將總代井上幾太郎大將其の他各勅奏任官總代等文武顯官六十五名いづれも大禮服又は正裝にて參列、十時本多掌典次長は神饌を供し恭々しく

神前に祝詞を

奏し奉る、此の朝八時五十分大元帥御正裝を召されて宮城御出門の天皇陛下は宮廷列車にて十時十五分東淺川驛に御着車、自動車で陵所に成らせられた、斯くて御陵所に着御の陛下は林式部長官、一木宮相の御先行、鈴木侍從長以下供奉にて御拜所に出御靜かに先帝の御靈前に玉串を献ぜられ御告文を奏せられ、次で皇太后陛下の御名代として朝香宮妃允子内親王殿下の御拜あり、參列各皇族殿下、文武官の拜禮あり、天皇陛下は十時五十分御陵御發十一時東淺川驛御發、午後零時十分原宿驛御着車宮城に還幸あらせられた

皇靈殿の御儀

秩父宮殿下御代拜

【東京二十五日發電】御三年式年祭皇靈殿の儀は宮中賢所に於て嚴かに行はれ、十時天皇陛下御名代秩父宮殿下衣冠單衣の御裝束にて神前に參進御代拜を奉仕遊ばされ、夕刻よりは皇靈殿御神樂の儀あり、陛下綾綺殿に出御御拜あり夜もたけて御儀を終らせらる

日本全國に於ける失業者が三十萬人

十月一日内務省社會局の調査

【東京二十五日發電】内務省社會局調査に依れば十月一日現在失業者總數は二十九萬二千三百二十四名で内譯は給料生活者六萬二千五百五十名、日傭勞働者十萬七千六百二十二名、其の他十二萬二千百五十二名である

支那遊廓を探險したい

我が文壇の重鎭たる里見志賀兩氏來連

兼々來滿を傳へられて居た我國文壇の重鎭里見弴、志賀直哉の兩氏は滿鐵鐵道部の招聘に依り二十五日入港のうらる丸にて飄然やつて來たが、小柄な里見氏は洋服姿で志賀氏は和服の蕭洒しに深山の湖水の様な落着いた眼光を湛へてスモーキングルームにて交々語る一個月の豫定で歸途は朝鮮を廻り

滿鮮各地を

巡遊するつもりですが、一ケ月では短かすぎるでせうか、兩人共滿洲は初めてですが以前細川護立〔?〕氏等一行の滿鮮旅行談もあり、行かうくと思ひ乍ら遷延してゐたのを此機會を利して面倒臭がりの志賀を誘つてやつと來たのですがこちらでの行動は一切人任せで着いて見た上でなければ大連に何日滯在するかも分りません、但じ一切講演等しない事は最初からの約束で來たのですから唯ブラリと滿鮮を觀て廻るだけです

里見氏に本年に於ける文壇の

著しい傾向

は、と問へば

僕は此頃本を讀まないのでよく分りませんが矢張り新興プロレタリヤ文學の勃達した事でせう併し各新舊文壇の對立云々と言つても結局是も齎物の流行の樣なもので、幾分時勢に追從する嫌があるが、齎々の模樣、柄が幾ら變つても畢竟羅紗地を使ふと迄行かないと同樣に、文藝評論の立場から言つても文學の評價立脚點が急に變るものではないと思ふ、まあ旅行の序々には支那の遊廓なぞも大いに探險してみやうと思ひますが、私は旅行記を時事新報に送るつもりです

志賀も一緒

上同紙に書くでせう

志賀氏は話を繼いで大連も仲々暖いですね、内地の儀の和服で來たのだし速かに服を拵へてお土産傍々旅行服にします

と出迎への人に支那服注文を依頼してゐた（寫眞はうらる丸上の兩氏）

御眞影を捧持

小川殖産課長歸へる

曩て上京中の小川殖産課長は教育専門學校、撫順新屯小學校、長春西廣場小學校に御下賜さるべき御眞影を捧持して廿五日入港のうらる丸にて歸任したが、埠頭には須藤憲兵分隊長日下憲兵隊、警官の護衞の下に關東廳より日下文書課長出迎へ御眞影を受け繼いだ、小川氏は語る

大連漁港問題も歸つた上でないと私に具體案があるわけでなし今何にも分りません、孰れ事情を調査した上具體案を考へます

深刻な不景氣に緊縮も徹底

庵谷奉天會頭の内地土産談

全國商工會議所會議に出席の爲め上京中の奉天商工會議所會頭庵谷忱氏は二十五日入港のうらる丸にて歸來したが船中にて語る

會議に關しては先に歸つた篠崎君から聞いたらうが今度滯京中松田拓相に二、三度面會し支那側の

通商妨害

に就いては數時間に亙つて懇談し金解禁となつた曉の貸借の關係から言つても大いに考慮すべき事だと意見を申上げておいたが拓相も熱心に小坂政務次官、武富參與官等と共に聽取されました、製鋼所問題は私は一切觸れなかつたので分りません、年末を控えて内地の

不況風は

可成り深刻でお膝元の關係もあらうが東京に於ける緊縮振りは滿洲等より一層徹底してゐる樣です

高等小學教科書に誤謬がある

土崎商業教諭が發見

【秋田廿五日發電】秋田土崎商業學校教諭野尻百助氏は文部省編纂の昨年九月十九日改訂された小學校高等科三學年用讀本下卷第十課「大日本史の編纂」の文中第五十四頁に誤りある事を發見之れを發表した、卽ち同文中國史編纂の困難な事業に生涯を捧げた幾多學者中の功勞者として安積良齋、中村篁溪、栗山潛鋒、三宅觀瀾、栗田寛氏等を擧げて居るが、良齋は天明から萬延年間の學者で同史編纂の初期より數ふれば百年も後の學者であつて、之れは明かに篁溪と同時代の學者たる彰考館總裁安積澹泊の誤りであると云ふので、篁溪等は正保から正德時代の人である、右の文は出所を明記してないから文部省編纂員の編纂に係るものなる事明白で右の誤りは全く文部省の失態である

少女間で大評判

▲新案双六▲面白い家族合せ▲珍しいお年玉▲ペン習字繪本▲少女訓=五大附錄のついた『少女倶樂部』新年號、安いく早く御覽!

小橋前文相召喚さる

參考人として

【東京二十五日發電】二十五日午前十一時小橋一太氏は兩角豫審判事の召喚に依り檢事局に出頭した

市民に深く感謝

=榮轉に際して=

高山大連署長語る

安東警察署長に轉勤を命ぜられた高山大連警察署長は大連、旅順、貔子窩各署長に歷任した人で關東廳管下に於ける名署長として知られてゐるが、州外轉勤は最初だけに勿論安東も處女地である、大連の任期は一年半の短時日であつたが重大犯罪續發の跡を受けて就任した氏の最初の立場も苦かつたらう、けれど氏の不拔な努力は能く一年半で大連をして全く平和に還らしめたことは大連市民の最も感謝してゐるところである、轉勤の報を聽して署長を訪へばいろくとお世話になりました在任一年半大過なくして來たことは市民各位の御援助と御指導の賜と深く感謝してゐる、署内からも三四榮轉者があるので喜んでゐるが、犯罪の檢擧に、交通の整理に、防犯に警察の機能を署員が一致團結してそれぐく發揮して呉れたことも自分としては忘れ得ないことである、州外轉勤は最初だが今後ともよろしくお願申上げたい

中等學校の武道科

正科になる

文部省では柔劍道等武術の振興に關しても一般體育運動の問題と共に熱心に之れを唱導しつゝあるが武術振興の第一歩として現在中等學校における武術が隨意科として强制的科目となつてをらぬに鑑みを正科に改正するを方針とし、近く體育運動審議會にも諮り委員會を設置して調査研究に當らせしめる方針であるが、武術を正科にせよとの主張は關係當局關係方面はもとより田中内閣當時に於ても中學教育改善案の中にも之れを主張して來てをり、近くは前小橋文相の體育運動振興方針と相俟つて大麻文部參與官等の間に熱烈に之が唱道され現在では既に確定的方針となつてゐる（東京特信）

故ルーベー氏

遺骸埋葬さる

【パリー二十四日發電】フランスの元大統領ルーベー氏の遺骸は陸軍の儀禮を以てリマール山に埋葬された、なほ上院は本日閉會前ドーメル議長はルーベー氏の演説をなした

放送局員任免に當局干渉

【東京廿五日發電】日本放送協會では遞信省無線電話取締法規が來る一月一日より實施されることゝなり、役員及放送局員の任免は監督當局たる遞信省の認可を要するやうになつたので一應日下の全國局員は新規則に依て改めて遞信省の認可を受くるを要し、此の際局内に相當人事異動行はれる模樣である、斯くて從來放送協會は遞信省の退職官吏で固められ兎角官僚化する傾きあり、又放送に對する内務省、遞信省の二重檢閲が問題になれる折柄更に人事問題まで當局が干渉するに至つたことは注目されてゐる

國定教科書の値下交渉

【東京二十五日發電】文部省當局は國定教科書値下問題につき昭和六年四月の新規契約期より凡そ二割方値下の方針で會社側に交渉することゝなつた

樂しい歸省

男女學生達でうらる丸賑ふ

各大學專門學校も多期休暇となり内地遊學中の學生も樂しいお正月を父母の膝下に送るべく二十五日入港のうらる丸には是等歸省の男女學生の嬉しい顏が多數見え、出迎への親兄弟の久方ぶりの團欒に慌だゞしい師走氣分埠頭に一抹の和かさを漂はしてゐた

若い女の自殺未遂

揮發油を嚥下

大連市浜江町五丁目石崎キヨ（二〇）は二十五日午前十一時四十分頃自宅に於てキハツ油を嚥下し自殺を圖つたが死に切れず、苦悶中を家人に發見され直ちに大連醫院に擔ぎ込み應急手當を受けたゝめ生命には別狀ないと、原因その他については目下取調べ中

二名窒死

無思慮の苦力

大連市初音町一六六番地元陳西省々長陳退思方苦力趙萬謙（二〇）及馬貴廣（二〇）の兩名は、二十四日夜三疊敷位の部屋にコークスを焚き煖をとりながら就寢したが、室内が密閉されてゐたゝめ窒息死亡してゐたのを二十五日午前七時頃發見死體は大連署の檢視後家人に引渡した

クリスマス

各教會で開催

クリスマス祝會は左の通り開催▲大連日本基督教會（廿五日午後六時半）▲日本基督沙河口教會（廿五日午後六時）▲救世軍育兒婦人ホーム（廿七日午後七時）▲大連YMCA（二十六日廿八日午後六時）で行はれる

兒童中心のクリスマス大會

二十六日午後二時より敷島町基督教青年會講堂に於て土曜學校主催の下に市内各名士の兒童の興味中心の童話を主としハーモニカヴアイオリンピアノ其他器樂等ありて盛大なる祝賀會を開催する由、尚ほ市内一般の子供さん方を大いに歡迎すると

馬賊四名引渡

山東で銃殺か

先月末大連署に於ては山東を荒し廻つた馬賊の片割れ山東生れ宇殿魁、曲輻芳、嚴雲山、孫許九の四名を逮捕したが、二十五日芝罘より國民軍第三師司令部陸軍少佐留馨林が犯人受取りに來連したので引渡したが、二十六日出帆の公濟丸にて山東へ護送の上銃殺すると

横領犯人押送

朝鮮平安北道義州郡石津面生れ當時新義州府彌勒堂〔?〕（二〇）は横領犯人として天津に於いて逮捕されたが、二十五日入港の天潮丸にて押送されて來た、同夜水上署員受取り安東へ護送の筈

文藝

劇壇近事

青木實

【二】

松竹が今日の大をなしたのは決して一朝のことではない。一大トラストを結成せんとの大谷社長の野望が、幾多の苦い經驗を重ねて始めて今日の礎をとなへるにまでなつたのである。

築地小劇場の、新築地劇團、劇團築地小劇場の二つに分裂するや、新築地小劇場を助けて、小舍を貸し經濟的援助をするなぞ一部からは、可成り冒險的にみられたのだが松竹の計畫見事圖に當つて公演ごとに滿員の盛況を續けてゐる。これなぞ、松竹の時世をみるに敏感なることを自ら語つてゐる。

又、關西には、坂東壽三郎を盟主として、第一劇場なるものを組織させ、主として新作物の上演を續け、一方に新派の井伊を水谷八重子と組合してこれ又、娯樂本位な一派を作るし、澤田正二郎なき後の新國劇を支持する等、常に拔け目なき作戰ぶりである。

舊歌舞伎劇の方をみるに、有り餘るほどの俳優を縱横に動員して新味を添へ、新歌舞伎もの上演に努力するといつたやうな有樣である。

雜誌「舞臺戲曲」を發刊し、上演を本位とした戲曲の獎勵をするなぞ、劇文壇に對する一の貢獻とみてもいゝだらう。

要するに、多大の資本が、よき俳優を多く集め、多數の劇場を掌中にし、智惠が揃つて、樂屋に適した策戰をめぐらすとでもみるべきである。然し乍ら、我々に、なにか松竹が飽き足りないのは常に、なにを計畫してもその根柢にあるところの商賣氣である營利主義である。これは松竹が營利會社であるから、當然なことなのだが、商賣氣を離れた演劇も、たまには見たいのであるたまには、ではない。ぜひ見たいのである。今日それをみるには、我々は素人劇團を組織して「芝居入門」の第一歩から歩み出さなければならない。」

【三】

歌舞伎劇は、すでに行き詰くところまで行つてしまつたのである。所謂新劇が如何なる經路をどこに見出すか？今後の閲覽は、すべてこゝに存ずる。

文樂の人形芝居のやうに、形式的美感をのみ保有するものとして舊歌舞伎劇は、今後も上演され、保存もされるだらう。又そういふ意義からは、當然保存されてよいだけの價値のあるものである。

それはそれとして、我々にとつては、演劇は時代と共に、寧ろ時代の尖端をきつて進まねばならないものである。我々は、我々の生活環境に即した演劇を欲求する。その意味から言つて、近代人に依つて創作された戲曲を我々は演劇としてもたなければならない筈である。

昭和四年に於て、プロレタリヤ演劇運動は一大躍進をなした、然し筆者は、可成りの識議をもつてそれが單なる、左傾流行に終らなければ幸ひだと見てゐる。

ある演劇は、單に大詰にもつてきて、赤いライトを照明しインターナショナルの合唱をなし、それをもつて、僅かにプロレタリヤ演劇として通用させてゐるものもある。而もそれに熱狂する觀客がある。俳優のせりふに理窟があると觀客は感激して大聲を發するのである。僕はこれらの觀客に對しては、芝居をみるより本をよんだ方がいゝでせう。と言ひたくなる。

筆者の言を單なる漫罵としないために一例を擧げるならば、藤森成吉氏の「何が彼女をそうさせたか？」がある。「僞造株券」がある。何れも新築地劇團に依つて上映され、殊に前者は一大センセイションを喚起したものである。だがその作たるや類型的で單に一つのからくりを淺薄なる一面觀から無實したものである。

作者は密に自負してゐるらしいが、演劇としては決して、優れたものとはいへない。

今日では、經濟的保護を得るために、或ひは人氣取り政策から、左傾した劇團を生むやうになつたのである。そしてそれら左傾劇團なるものは、主として知識階級の高級なる、或ひは常識としての玩具品となつてゐるのである。

斯の如き劇團が、いつまで觀客を引つけてゆき得るか？少くとも現狀のまゝでは崩壞は目の前にみえてゐる。或ひはもつと盛になるのかも知れない。その時は世も終りである。

だが、現代のプロレタリヤ演劇は餘りに偏頗に過ぎる。一本調子に過ぎる。大衆は眞に如何なる演劇を欲求してゐるのだらうか？現壇にしつかりと根を下ろした、人生の總ゆる種々相を見せてくれる演劇。これではないだらうか？僕は滿洲に、活力ある新劇團を育てたいと思つてゐる。よき協力者の現れんことを願つて止まない次第である(完)

文壇內輪話

其六——文士內職しらべ

東京 南洋三

前の通信に文士の內職をスッパ拔いたが拔潰れの分を披露する。

入間長屋で文壇に——と云つても大衆文藝だが——名を出した村上浪六こと、本名村上信は、文壇とは少しも交涉がない。あるひは株式取引店だ。原稿料をこつちの方へ廻して、一か八かのスゴイところをやつてゐる。

結構、これがまたアタツて、飯が食つて行ける。云はゞ小說書きが內職のやうなものであり、本人又、文士ではないと云つてゐるから、何處かに浪六らしさがある。

本山荻舟は、つた屋といふ小料理屋を京橋に出して、午後になると荻舟自ら料理場に絆天をひきかけ、酢蟹や刺身をつくり、客をあしらつてゐる。これなどは堂に入つたもの今のところ、小說などゝいふものは、客のヒマヒマに書くやうなものである。

近藤經一は銀座裏にカフエーを經營して夜になるとお客のやうな顔をして乘り込み十二時前後になれば帳場で、その日の勘定をやる寸法、かうなると文士もまた淒聞しくなつて來る。

文士で、自家用自動車を持つのは菊池寬たつた一人だ。それも稅金の關係があるので乾分の錦木氏の名義に屆出てあるなどは抜け目なしだ。

菊池寬と云へば、例の文藝春秋が二回ほどつゞけて、この秋に發賣禁止を食つた、それも風俗壞亂の廉であつたが、寬はこんなところはひどく神經過敏で、編輯責任者の菅某に大草某は、この責任を負はせられて、社をやめさせられたとか、追ン出たとか文壇雀はさへづつてゐる。

佐々木指月といふ男がある。これは今年五十餘歳だが、ちよつと見ると三十七八にしか見えない溌剌たる元氣者だ、アメリカに二十餘年住み、二三年前日本に歸つて來た。そして、書いたがちつとも賣れなかつた。「日本の文壇は俺のものは判らないのだこン畜生……」とばかりにムカッ腹を立てゝ、昭和三年の夏に、またアメリカにスッ飛んで、一生、日本に歸らないさうだ。アメリカでは充分に飯がくへ、生れ故郷では食へないなど痛快な現象だ。

食へないと云へば例の武林夢想庵も、外國ではその日ぐのパンの代に困つてゐる。こないだ日本に戻つてゐたが、すぐにまたあちへ行つた。金をつくりに戻つたもの、思つたやうにはできなかつたらしい。今、ヨーロッパに放浪する日本人で、立派に飯の食つて行けるのは、文士ではないけれども、そして、ひどく人間的には評判の香ばしからね畫家の藤田嗣治たつた一人と折紙をつけられてゐるなど、實に心細い次第だ。

日本の文士なンてものは、本當に見界がせまくて、東京から一夜泊りのところさへ旅行したことのないのや、汽車の二等、一等に乘つたことのないのがザラにある。そんなのが聞いた風な、ウスペラな、東京を中心にした小說を書くのだからたまらない。

小說よりも、いゝ金になるのは活動寫眞のシナリオを書くことだといふけれど、活動寫眞會社では大抵五六十圓の金を擲へば上の部中には二十圓、三十圓のヘシタ金だから、いゝ、脚本が手に入りッこはない。また賣れない文士五六人がグループを作つて一つの看板をあげて活動會社に渡りをつけ映畫一本のシナリオ一千圓也內外のものを常に四本か五本賣り込んだりする。もう、文士も一本立ちではうまく行かないので、打つて一丸となり夜店をひろげるやうになつた。いゝものを書くよりも、まづ人氣を煽ること、宣傳などが第一とされるやうになつたとは呆れる。

童謠

まり

まりはほんとに
おりこうだ
かべにあてると
もとどほり
ミツトの中に
かへつて來る
まりはほんとに
おりこうだ
まりはほんとに
かはいいな

まあるい顔して
ころがつて
元氣にポンポン
はづみます
まりはほんとに
かはいいな
まりはとつても
强いなあ
頭をうつても
泣きません
何べんうつても
へいきです
まりはほんとに
强いなあ

老子降誕を讀む

古川賢一郎氏の詩集

Hranalt と鐵筆を攜帶して、我等の滿蒙を測量する青年苦力古川氏の六ケ年の清算「老子降誕」はあゝ餘りに正確なる滿蒙解說圖ではあるまいか。

君の Hranalt は我等の內臓を暗黑なる地獄の內を容赦なく測量する。然して鐵筆は總てを淨化する。

詩人佐藤惣之助は
「天稟は素材を活達にする。即ち形態を鍛める。環境は素材を變める。「老子降誕」はこの環境に古川君の性情をちりばめたものである。」
と云ひ亦
古川君は滿蒙の心靈的地層を游弋してよく生活の苦汁を咀嚼してその詩態に塗り塡めてゐる。故にこれは單なる風物的竹枝ではない。觀光者の快走リリックではない。打のめされた弱肉の躍だ。狂氣した娘仔と餓えた滿蒙子女の怨靈的な代辯でなくて何であらう(序文參照)

誠に古川氏の夜の詩人だ。それ故に暗鬱だ。陰慘だ。灰色な病的な娼婦の叫びだ。

茲に一箇を拔いて見る。

路上の雪のなかに
落ちた柘榴のやうに轉がつてゐる首
皮膚は凍つて
ひすゐのやうに蒼くなつてゐる
頰へ抜けた彈丸あとは
椿の花のやうに開いてゐる。
これが人間の首ですか。
凍えた豚の頭より賤ない首
ちよん切られた人間の首(略)

◇

あの子は冷たい鑿突の上で、干からびた老婆に掠かれて眠る。
あの子の骨や皮は固くなつてゐる
血の色さへ薄くなつてゐる。
革命の埃の中で瘦せ細つてゆく子供。
「胡よひもじかろ」と呼かけてごらん。
「盛」と面くさい返事をする。
(生きてゐるの中)

滿鐵は數多の藝術的紹介者を招聘して宣傳に努力する。然し彼等は何を紹介して呉れたか。民謠詩人某の民謠の幼稚さ。車窓に頭を倒してMCCを喫しながら通過する彼等は觀光客だ。最も深く我等の心臓に刃を入れて大膽に紹介して戴きたい。我等の詩人の古川氏の大膽を見よ。

今世紀の滿蒙族の苦闘の中へ。苦力の生活の中へ。私は默つて突き進めて行きます。茲に彼は北行する苦力の爲めには老子でなくてはならない。

彼の測量旗の紋章は幽鬱だ。彼の背には青龍刀が光つてゐる彼れはトランシットと鐵筆を攜帶して進む。遼東へ。北滿へ。內蒙古へ。

そこには私窩子が居る。花子が餓死せる嬰兒の骸骨が、沙漠には生首が。城壁の月下には蝎が、盜賣窟には日本女郎のノスタルジヤな哀調が

之等の測量記錄の清算「老子降誕」私共は茲に餘りに暗鬱なる滿蒙での老子の降誕を祝賀して止まない。(恭)

映畫界展望

マキノ來滿宣傳

滿鐵東京支社に關係なし

山村水太郎

秋も老けて、そろそろ北風が寒くならうとする頃から、パッと擴がつたニュース、それは殆ど日本全國的に擴がつて行つた。

それは、マキノが滿鐵の援助の下に滿洲背景の大映畫を製作するといふのであつた、總費用十五萬圓といふ(あるニュースには二十萬圓とふのもあつた)渡滿俳優百五十名、大連乘込みは一九三〇年一月五日の豫定右は滿鐵東京分社長と契約調印ずみ云々。

何と素晴らしいニュースではないか、マキノ更新の第一聲、遙かに遠く異郷に進出して、これ實に日本開闢以來の大撮影、さすがに故省三氏の雄圖を語るもの、われらはその日の早く來らん事を鶴首したのであつた。しかして、マキノ渡滿のこのニュースは其後新聞に雜誌に通信に、あらゆる處の映畫欄を賑はした、マキノ渡滿、マキノ渡滿……。

だが、それから一ケ月、二ケ月時は年の暮れに迫つた、一九三〇年までにはもう日がない、だが、其後の第二報が出ない、第二報どころか、あの勢ひならば、第三報も四報もあつて然るべきに。

マキノ黨のファンはしびれをきらした、一たいどうしたといふのだ來るのか來ないのか、その內に地方的の極小さいニュースが傳はつて來た、それは大連連鎖商店街の新築常盤座へマキノ俳優十數名が挨拶に來る、一九三〇年一月五日頃大連着の豫定、はゝあこれでなぞが解けた、といふものがある、解つたやうな、解らないやうななぞであるが、經費十五萬圓で百五十名の一行は來ないのが事實らしい。

然らば、十數名の一行が挨拶だけに來るのかどうか、それは第三報が傳はらないからまだ解らない、しかし、一九三〇年の一月五日頃はさう遠くはない、その日が來たら確實にわかる事である。

由來映畫界の宣傳には天才的きらめきがある、特作が超特作になり、超特作が超努級特作になり超々努級特作が百萬弗映畫にもなつたりする、それから見れば十五萬圓映畫ぐらゐ何でもない、最近はいよいよ窮してあちらではA Million Candle Power Picture(百萬燭光映畫)などいふのが流行してゐる、まことはモダン天才的だ。

かくして、映畫界の宣傳は或程度までのヨタは道德圈外に置かれ許されてゐるのであるが、罪の深いのはその圈線の內外を彷徨してゐる。プロパガンダである。

マキノ渡滿撮影說の宣傳には滿鐵東京支社長と契約調印濟とあるが、東京支社長から本社へは事實無根との報告が來てゐる、たゞしかうしたエピソードは殘されてゐる、それは、或日、マキノを代表して某氏が滿鐵東京支社運輸課を訪れ、滿洲へ撮影に出かけたが×圓援助してもらへまいかと申出た、具體案はとの反問に對してその案もなく且つあまりに漠然たる話であつたので支社ではお斷りした、たゞそれだけのエピソードが殘されてゐるそうである。

マキノ滿洲撮影說が何處から飛ばされたニュースで、その飛ばし主が誰であつたか、それを今更ら詮議して見たてはじまらないが、ずい分罪なニュースであつた、第一、十五萬圓もかける映畫は素晴らしいものだ、本場のアメリカでさえ容易の事でない、第二、滿洲入り百五十名の俳優はエキストラ數へてゞあらうか、第三、極寒一月を選んでの滿洲ロケーションは全くの俳優泣かせだ、凍傷ぐらゐなら我慢出來やうが惡るく行けば凍死事件もあるかも知れない、ニュース內容を具さに見れば、何となく宣傳のために傳へ下手な宣傳らしいではないか、最も心ある映畫人はたゞ一笑に附し去つたであらう、どうせために する宣傳ならば、も少し天才的にモダンにやれなかつたらうか日本映畫界の鬼才故省三氏の遺業を堅實に護る人々のために、われら最も遺憾とする處であるといふ人もある

しかしてさらに、巷間傳ふるものゝ說に、滿鐵マキノに對する信義を裏切る云々とあるが、此間に立つてその消息を知るものは故省三氏亡き後のマキノ更生の爲めに長大息せぬものはない、何れは何れかにひそむ策士の爲めに誤られたるか、却つて宣傳に祟ひされんとするマキノを憂ふものが多い。

新興の氣旺なる連鎖商店街の常盤座、その前途多幸である、その開館式に當り、マキノ中堅を以てする俳優諸君が來て錦上更に花を添えんとするのはまことに愉快である、一九三〇年芽出度スタートを切つて落成祝の美果を讓られんことを切に祈つてやまない。(一二、二一)

平安異香（210）

葉多默太郎作 中一彌畫

奔流（七）

傘張り職人、實は捕吏の藤六といふのを無影につけて、勘兵衛、太吉に藤六、三人で跟けて行くと向ふはお秀を中にして、下郎風と侍風の三人、肩を並べてとつとと行くのだつたが、二條と、三條の中間の小路を京極へ抜けた時にはそれに商人風體の男が加はつて四人になつてゐた。

「藤六、誰か一人そこらで拾つてくれ。此方も四人にしたいんだ」

「變なことをやるんだね。何んだか職人合せみたいだ。傘張りに女房に百姓にお武家に、今度は何にしよう」

「區斷つかないで早くやつてくれ。山の通中の相撲の大きい所を見せようつて肚らしいから、此方にだつて、この位の用意はあるぞと、しつかり見せておいてやりたいんだ」

「よからう」

と藤六が機敏に露路へ駈けこむと、間もなく半丁ばかり先の露路口へひよつこり貌を出して、勘兵衛等を、つてゐる。一人、いがぐり頭の荒法師みたいな男を連れてゐるのだつた。

これを加へて此方は四人、向ふも四人。

それが、京極を北へとつて、二條へ出た時に、何處から現はれたのか五人になつてゐた。

それといふので、路傍の柳の下に乞食のやうにして蹲踞んでゐたのを引起して此方も五人にした。

間もなく六人になつてゐる。

此方も、もう一つ頭を揃へた。負けず劣らず、何處までも競爭してみるつもりである。

ふと、お秀が早口に何か云つたやうだつた。同時に一味の足が早くなつた。走るやうな歩き方だ。

「おくれるな。目配はお秀一人だ。有象無象に目をくれな」

勘兵衛は手に睡して眞先に立つた。

一條へ來た時、少しも氣振を見せず、唐突にお秀が角を左へまがつた。

追詰て一條の辻へ來た。

お秀は四五間先を歩いてゐるが、何をどうしたのか、お秀一人だ。五人の驪は影も形も見えない。油斷なく、八方へ目を配つたが、まつたく足跡さへも殘つてゐないのだつた。

器用な眞似をしやがる。

からつけつの勘兵衛が唸つた。

「油斷はならねエぞ」

と、藤六だ。

太吉は、女の樣子をちつと見ながらいつた。

「あきらめて、手を變へるつもりだ、彼奴」

「太吉、どうしよう」

「此方も變へるんだな。一旦やり過して、安心させた上で跟けるんだ。一からやり直すより仕方がねエやうだぜ」

「ぢや太吉、手前だけの手を借りることにしよう」

「光榮の至りといふ奴だ」

「皮肉を云はねエでやつてくれ。まつたくの所、一人ぢやどうも手に合ひ兼ねる敵だからよ」

「仕様がねエ。こゝまで引つ張られて來たんだから、今更のくわけにもゆくめエ」

で、四人を散らして、勘兵衛と太吉の二人が、本格の尾行を始めた。

二人のうちの一人が、必ず露路を抜けて先廻りをする。そして、露路にお秀を中に挾んでゐるやうな位置をとつた。

露路を走りながら、或は群の中、塀の際などで、布衣を裏返したり短袴を伸ばしたり、引揚げたりする程度の手間で濟ませる變裝をした。こん度は讓目だから、それで充分効果のある變裝が出來た。そして、汗水流しながら大車輪で尾行した。

お秀は、朱雀大路へ出した。追ひ詰められて、よんどころなく大路へ出たとも見はれるが、また、大路の人混みの中で、うまく勘兵衛等をごまかさうといふ肚のやうにも思はれるのだつた。

大衆本位の演藝館（二）正月映畫陣

大衆映畫劇場を標榜する演藝館は今年の正月興行が比較的不成績であつたのに鑑み明春こそは斷然他館をリードすべく過般英澄館主が上阪して帝キネ本社との間に正月番組の直接交渉を行ひ、これを基礎として西洋映畫を組合せて大衆本位のプロ編成に苦心を拂ひ、また一面ファンの期待にも應ふべく陣容を整へてゐる、即ち初春興行の第一週は市川百々之助主演の帝キネ特作品「嵐山花五郎」を內地と同時封切し現代劇は百パーセントの興行價値を狙つて鈴木重吉監督作品高津慶子入社第一回主演の「戀のヂャズ」及びビーブ、ダニエルとレーモンド、ハットン共演のロイドの喜劇「無鐵砲ロイド戀の一番槍」の三本立である、第二週は「第七天國」と同じトリオーボザージ、ゲイナア、ファーレルのフォックス映畫「街の天使」を以て洋畫ファンを迎へまたラグビーを取り入れたスポーツ映畫の一「あすは決勝」の大衆向き現代劇に明石緑郎主演の時代劇「泥濘」を組合せ「街の天使」を呼び物にしてゐる、第三週は國の「サブマリン」と併せられる小フェヤバンクス主演のテイファニー、スター映畫「旋坑」を中心に時代劇は松本田三郎主演の「出港の船」現代劇は帝キネのレヴュー映畫といふ高津慶子主演の「好きだから」を上映し三週とも三本立である、その後に於ては大物としては「ショーボー」や「四人の悪魔」が期待されてゐる。【寫眞は戀のヂャズ】

喋話

いよいよ年末もおし迫つて來て、各映畫常設館ともに新春興行の宣傳に力が入つて來たが▲今年の宣傳流行語は「內地同時封切」▲勿論演藝館、大日活、常盤座の三館は事實內地と同時封切をするらしい▲帝國館でも正月第四週には斷然內地に於て他の館幹部を押へた鶴見祐輔の母を引いて松竹映畫滿洲入のレコードを破らうと力んで居る▲今晩五時から鳥春で吉田新浪速館々主が關係者を招待して顔つなぎをやるとの事である▲しばしば來滿の噂を立てられて居た西條八十氏の話が又復持ちあがつて居るが▲今度は幾分確實性を持つて居るやうだ▲帝國館宣傳部の津多皓三君、一身上の事から二十八日の夜行で一寸と日本へ歸つて來るとの事。

買物ニュース

▲磐城會の組合大賣出は年末の殷賑さを增して本年は特に店頭の装飾と景品付で盛んな景氣を見せて居る

▲三越の大歳の市は流石に商品の豐富と大衆向の品揃ひで思ふ存分の買物が出來るので何時も滿員の盛況

昭和四年十二月二十六日 THE MANSHU NIPPO （木曜日） 第八千四百八十九號
滿洲日報
新年號 改造 特輯 價壹円
堂々七百頁の大冊
改造社
鎔鑛爐の火は消えた 淺原健三
オスカア・ワイルド 下獄記 本間久雄
第二貧乏物語 河上肇
新性道徳の設立へ 杉森孝次郎
土地問題と封建遺制 猪俣津南雄
世界の新建築をたづねて 中村
シュヴァリエ デオン 大佛次郎
時評
反動時代を如何に戰ひ拔くべきか 大山郁夫
魚王行乞譚 柳田國男
「科學の階級性」に就いて 田邊元
世界兵器の進歩 杉山元
一九三〇年
農村と都市
世界散策記 久米正雄
長江進出軍 前田河廣一郎
銀の獨樂 野上彌生子
清算 明石鉄也
大都會の一隅 佐藤春夫
誰が殺したか？ 葉山嘉樹
卍（まんじ） 谷崎潤一郎
間米氏の銅像 林房雄
メダンの獨白 武林無想庵
蜂起 藤森成吉
石油大爭奪戰 伊木常誠
スキーに行かう!! 石川欣一
これが巴里だ!!
詩
赤い廣場を横ぎる 田口運藏
競馬の話 中戸川吉二
澤村田之助 丸木砂土
フランス刺繍羽子板
印刷
婦人サロン
文藝春秋社發行・一九三〇年型婦人雜誌
私の知つてゐる女性列傳……菊池寛
新年特輯號！
彩と現代を語る！
ペソ子とユマ吉新年の巻
影を追はれて 片岡鐵兵
孤獨なる女 吉田絃二郎
VOX・DEI 神の聲
初夢物語
女ごゝろ 不如丘
特價四拾五錢
文藝春秋社
少年倶樂部新年號
出たッ！新年號!!
面白い〱面白い
讀めば偉くなる
立派な課外讀本！
一番よいお友達！
大奮發!!
すばらしい三大附録
第一附録 日記一冊
第二附録 かるた一組
第三附録 大繪巻一冊
特別附録 ダイヤモンド双六
立志出世 若槻禮次郎物語
乞食王子
少年讃歌
家なき兒
山嶽黨奇談
全國中等學校剣道優勝戰
南洋の凱歌
熊と牛の決鬪
潜航火薬艇
豪古王の秘寶
日本人オイン
肉彈突撃
科學珍奇大畫報
各國自慢の軍艦
譽の乘つ切り
新作やぶ入り
英治詩手帖
日の丸の歌
やれば出來る
なまけ者退治
何でも答へる物識り小馬
ビックリ〱アメリカ
三萬圓大懸賞
學科上達の秘訣
三大附録つき 定價六十錢
大日本雄辯會講談社發行
少年倶樂部日記

局長さんも吃驚り
年賀郵便に吹く緊縮風
今年は官製葉書が巾を利かす
師走を行く（24）

昨今の大連郵便局の窓口は葉書や切手を買ふ人で押すな〳〵の大雑踏、事務員は文字通り汗水流して大雑踏をつゞけ年賀郵便の山が築かれてゐるが、それでも矢張り緊縮の風はそうした忙しい大雑沓の中にもヒシ〳〵と押し寄せて來てゐる、大連郵便局の局長室を訪れると局長さんは「コウした處にまで緊縮が影響しやうとは思ひませんでした」と語り乍ら統計表を見せてくれる

◇

一錢五厘切手賣上高
廿三日まで　二七〇、六八〇枚
卅一日まで　三六五、〇一六枚
（昭和三年十二月分）
廿三日まで　一八三、七五〇枚
卅一日まで　二六六、三三〇枚
（昭和四年十二月分）

二錢切手賣上高
（昭和三年十二月分）
廿三日まで　五三四、三七二枚
卅一日まで　一六六、八八九枚
（昭和四年十二月分）
廿三日まで　一九八、二八九枚
卅一日まで　二八九、二八一枚

三錢切手賣上高
（昭和三年十二月分）
廿三日まで　一七七、六一七枚

一錢五厘葉書賣上高
（昭和三年十二月分）
十九日まで　七二七、七五〇枚
二十三日まで　九三三、六二五枚
卅一日まで　一、二八五、六七七枚
（昭和四年十二月分）
十九日まで　九四一、二五九枚
廿三日まで　一、二〇九、七三七枚

◇

面白いのは切手の賣上の甚だしい減少に比して葉書が激增し、しかも年賀郵便としての受付は依然減少を來してゐる事だ、即ち

年賀郵便受付數（昭和三年度）
廿一日まで　一三〇、〇六一枚
廿三日まで　三〇五、八八五枚
（昭和四年度）
廿一日まで　九四、四〇九枚
廿三日まで　二二六、四七六枚
內葉書　二二六、五八五枚

年賀郵便到着數（昭和三年度）
廿三日まで　二八、七五三枚
（昭和四年度）
廿三日まで　二五、〇八五枚

の數字は明らかにこれを物語つてゐる

◇

この奇現象はどうしてかと考へるのに恐らく本年は昨年まで封緘にし、或ひは私製葉書にしてゐた人で葉書に鞍替した人が多くなつた爲ではあるまいか、また廿三日現在の葉書增加率が昨年に比し二割九分強であるが、二十日以前にその增加率が三割以上になつた時のあるのは一錢葉書の印刷が增した事を現はすのではあるまいか、勿論卅一日になつてみないと確實な事は判明しないが、何れにしてもこれ等に現はれてくる統計は如實に我々に世が緊縮の時となつた事を物語つてゐる【寫眞は郵便局の集配係】

白國兩陛下を狙ひ
大官の暗殺を陰謀
伊白兩皇室間の御慶事に憤慨
一伊國人青年捕はる

【ブラッセル廿四日發電】ブラッセル市警察はベルギー皇室に對する陰謀あるを探知し犯人として一イタリー人を逮捕した、事件は右陰謀の外に伊、白兩皇室間の御慶事に憤慨し大官をも暗殺せんとしたもので、逮捕されたるは共産黨員でナラ、ビエルニと云ふ青年である、白官に依れば去る二十日當地で講演を行つたロッコ氏を暗殺の目的で潜入したといふ、これと同時に無政府主義者の一團が一月八日のイタリー皇太子殿下の御婚儀に列席のためイタリーに行はせられるベルギー皇帝、皇后兩陛下一行の御召列車に爆彈を投げる陰謀を企らみベルギー首相ジャスパー氏以下に對し右御婚儀を中止するよう取計らはぬに於ては暗殺すべしと脅迫状を送つてゐたことも判明した

米大統領の事務所全燒

【ワシントン二十四日發電】本日午後六時大統領官邸白堊館に隣接してゐる大統領事務所より出火し支内自動車ポンプ總出で大騷ぎを演じた、出火の原因は電流からだと傳へられてゐるが、火の手は折柄の强い西風に煽られ忽ち事務所の建物全部を包んだ、フーヴァー大統領は三名の秘書及家族を督勵し重要書類は總て持出された

急轉直下
圓滿解決を見ん
紛糾を重ねた市長問題

既報の如く市會紛糾の調停に乘出した田中民政署長は二十四日石本市長及市會一派代表の意見を徵した結果、圓滿解決の曙光を見出したもの〻如く愈々市會側に調停案を內示して交渉を始めた、依つて市會招集に應じた市議二十五名は午後二時過ぎより議會を開いた、各派より田中、若月、金井、大內、黒田、岡本、三田、野の八氏を

委員に　擧げ交渉を一任したので、以上の諸氏は五時過ぎまで鳩首協議した結果、市會側も石本市長を辭職せしむるに當り相當の面子を立てるべく讓歩することは異存ないが、市長辭職の時期と如何にして面目を立てるかに就て多少署長と意見を異にするものあり其の旨大內委員長より六時署長に傳へた、かくて未だ具體的決定まで見るに至らないが大體に於て市長も署長の

調停に　對し善處を期してゐるので急轉直下圓滿解決を見るものと觀測されてゐる、因に同日の市會は署長が調停に乘出したので開會を見合せ數日中に開かれ同會議で市長問題を解決せんとする模樣である

旅順の發電所竣工・永い間堪え忍んで來た旅順の電氣も愈々一日から旅大間の統一に依つて明るくなる事になつた、寫眞は之れが爲め本年の八月から旅順の元寶町現發電所の後方西南に建築された變電所である、總建坪百二十五坪、工費五千圓を要し二千キロの送電が出來る、二十四日竣工を見たので二十一日中星技師其他各關係者の實地檢分を了つた

文藝家協會が
放送を拒否
官僚化と二重檢閲を憤慨

【東京二十五日發電】文藝家協會では二十一日定期總會席上放送局の官僚化及其の二重檢閲に對し放送局彈劾を表明し、檢閲制度改正の第一步として先づ放送局を血祭に上げ協會員一致結束し作品を一切提供せず、又文藝講演其の他放送もせざることを決議した、放送局側では之が實行されたら大打擊であると狼狽してゐる

元旦の滿鐵

滿鐵では昭和五年一月元旦午前十時より會議室に於て新年祝賀式を擧行し又例年の如く同日賀辭交換會を滿洲館に於て催す筈

海軍航空科
愈よ新設する
明年一月一日から
水兵科から分離

【東京二十四日發電】海軍省では少年航空兵の採用に伴ひ從來の如く航空兵と水兵科とを同一科となし置くことを不適當とし航空科を明年一月一日より新設するに決したが、航空科出身者には官名に航空を冠稱し、航空特務大尉に至り更に少佐に進級の際航空を除いて海軍少佐となすこと〻なつた旨二十四日發表した

大那翁が愛息に
贈つた美事な首飾
紐育に現れて大評判

大那翁がその愛妻マリア、ルイザ皇后との間に生れた一人息子ライヒスタート公に贈つた有名な首飾りが最近當地へ持來され私的觀覽を許したので非常な興味を起して居る。此の首飾りは金銀の臺に四十七個の大ダイヤモンドを鏤めた實に美事なもので

價額百萬圓　と稱せらる此の首飾を繼承した現在の所有者は矢張りマリア、ルイザ皇后と同族の墺國の大公夫人マリア、テレサで本年七十四歳になるが若い頃には宮廷の儀式毎に好んで掛けたもので歐洲各宮廷に普く知れ亘つて居た重寶であつた。首飾りと一緒に那翁の皇后マリア、ルイザの遺言書の原本を添へてあるがこれによると首飾りは大戰當時の墺帝フランツ、ヨセフの母ソフイー皇后に遺贈する旨が記載されてゐるその後ソフイー皇后は之を第二皇子カール、ルードウイヒ大公に傳へ大公から更に現所有主たる未亡人マリア、テレサに遺されたのである。右の外駐米墺國公使ワシブール、ルンの證明書、首飾りの出來を記述したマリア、テレサの書翰及び

舊墺國宮廷　の押印ある纘承に關する文書なども添へてある、更に面白い事には製作に當つた寶石商ニットーなるものから那翁に差出した代價請求書迄も備はつて居る事だ。當時那翁はたつた一人の愛息の爲にと世界中の主なる寶石商に命じて最良のダイヤモンドを集め出來上つたのは右の首飾であると（ニューヨーク發聯合）

南太平洋に
女天下の日本島
トンガ群島の話

南太平洋の眞中にトンガといふ小群島がある、こゝの社會組織は古代日本のそれと非常に良く似た所があるとカリフォルニア大學博物館主事ギフオード氏はいつて居るギフオード氏はトンガ群島の人類學的研究に九ヶ年を費し其の研究が最近「トンガの社會」と題し當地ビシヨプ博物館から出版されたそれによると今から九百年ばかり以前日本人がトンガを始め南太平洋諸島一帶に移住して其の

支配的勢力　の一となつたものらしくトンガ及び其れに續くポリネシア及びミクネシアの諸島には古代日本をしのばしめるものが多く政治に於て國土の外に國政をあづかつてゐる將軍や執權職などに相當するものがある、祖先を崇拜する風も厚く神の血統を引く後裔であることを誇りとし、其の祖先を氏神として尊崇してゐるそれから國王乃至大酋長を山稜に葬る風も日本と同樣である、神話傳說などにも日本と一致する所が多い、然しトンガ地方では上下を通じて女性の勢力が遙かに

男性を凌ぎ　所謂嬶天下

次の長篇小說
元旦號より連載

目下本紙に連載中の小說「愛慾の窓」は好評の裡に近く終結を告げますので、我社は愛讀者各位の御期待に副ふべく現代文壇の寵兒三上於菟吉氏に交渉しました處長篇小說『戀と地獄』の執筆の快諾を得挿畫は肖像畫家中の新進鶴田五郎畫伯の彩管に俟つ事としました、必らずや大方の好評を博する事と信じます

長篇小說　**戀と地獄**　作者　三上於菟吉　挿畫　鶴田五郎畫伯

作者の言葉

僕の曝露文學はこの「戀と地獄」で自分としては實際を示したものと言へると思ふ。僕はこの一篇に現代東京が含む一切の美しき夢と力との渦巻、それに捲き込まれて押し流される幾つかの生命に就いて、出來るだけの描寫を試みる決心だ。僕は讀者の後援が、あくまで素志を貫徹せしめられんことを望む。

乞食の群れに這入つた
歐洲大戰當時の强もの
今は合力を旅費に哈市へ向ふ
哀れなストレンコフスキー

歐洲大戰當時ポーランドの勇士として令名を馳せたストレンコフスキー（三）は戰爭を機にして右腕に受けた銃創から肘に膝から下を切斷され榮譽も地位も何處へやら乞食の群に入つてしまつたが、昨今では食ふものにも事をかく樣になつたのでやつと叫び集めた合力を旅費として十四日入港の大連丸で來連した、同人は同じ死ぬなら同國人の澤山居るハルビンで死にたいと如何にも哀れな話なので、同船事務長、森水上署員等讓生等打寄つて奉天までの旅費を惠んでやつたところ、同人は淚を流して喜び松葉杖の不自由な身にも拘らず晴々しく旅立つた

百三戸全燒
神奈川縣下平塚町の大火

【橫濱二十四日發電】神奈川縣中郡平塚町一二〇九小宮穀助方より二十四日午後零時半出火、折柄の强風に煽られ百三戸を全燒して一時五十五分鎭火した、損害五、六十萬圓に上るべく原因取調中人畜に死傷なし

尊き學術の犧牲
岸上博士遺骨
廿五日神戸着

【神戸二十五日發電】尊き學術の犧牲となり曩に支那四川省成都に於て調査研究中にして客死した岸上博士の遺骨は、二十五日午後一時神戸入港の大阪商船パリー丸にて上海より來着した、神戸まで出迎へた外務省文化事業部の岩村成允氏、東京帝大農學部教授雨宮育作氏等附添ひ明二十六日午前九時東京驛着の筈である

藤田鹿山兩氏
釋放出所す

【東京二十四日發電】大阪グラウンド會社の背任横領事件で市ケ谷刑務所に收容中の同社々長藤田長左衛門氏および大阪與西畜產組合長鹿山貞次氏は二十四日午後六時釋放を許され出所した

長田桃藏氏保釋

【東京二十四日發電】私鐵疑獄事件の爲め九月二十日以來市ケ谷刑務所に收容されてゐた東大阪電氣軌道取締役元代議士長田桃藏氏は二十三日午後六時保釋出所を許された

野口訓導母堂

大廣場小學校訓導野口靜彦氏母堂やす子刀自（六〇）は豫て入院加療中のところ二十四日午後一時遂に死去した葬儀は二十五日午後三時東本願寺に於て擧行すと

滿洲短歌會例會

廿五日午後一時より滿洲短歌會を中央公園內南華園において開催した

けふのラヂオ

昭和四年十二月廿六日（木曜日）
自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース
自午後零時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース
自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔、株式各地相場）ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、薰曲　鉢の木　岩村吼處
三、箏曲　銀世界　準富大槻校
同　高木夫人　同　森よしえ
四、謠曲朗讀　慈圓の歌　田代賢二
五、淸元　吉原雀　淨瑠璃　多波羅
三味線　淸元延園松、多波羅　大
六、義太夫　心中天網島新地茶屋の段　太夫　鳴海秋若　三味線　竹本
七、支那唱歌　子　明馬金子、歸
八、付錄料理獻立
九、天氣豫報

滿日地方版

安東

組合を組織し目的を達成
許可あり次第工事に着手　二千町歩の水田計畫

鴨綠江下流朝鮮沿岸楊西面附近約二千町歩の崩落地に東拓が主となり一大水田にする計畫は、既報の如く大地主なる東拓では平壤支店支配人小椋長吾氏を代表者とし外二十一名の地主連名にて先般總督府に公有水面埋立の願書を提出し右出願者はこれが目的達成と今後の諸般の業務の處理の完全を期す爲め去る二十一日正午より新義州普通學校に集合協議をなしたが、出席者は小椋支配人外地主百五十名の多數、其の結果鴨綠江土地改良組合なるものを組織し事務所を新義州東拓駐在員事務所に置く事となり、組合には組合長、副組合長、監事役三名、評議員十五名を設け各々任命し目的達成の爲め萬全を計る事となつた、右地區内の縁故者は現在六百名の多數あり今後の出願者は漸次取纏めて組合に加入せしめ、總督府よりの許可あり次第工事に着手し三ヶ年以内に工事を竣功せしめる計畫である

希望婦人會募集の献金額六百餘圓
涙ぐましき一守衛の赤誠

安東希望婦人會では去月二十八日公會堂にて第一回緊縮演説會を開催せし當日より安東各市に亘り國債償還基金献金募集に努めてゐたが、二十二日まで六百七十圓五十錢の多額に達した、應募者中特筆すべきは滿洲製山葉會社守衛西村久助氏で零細なる金を集めた金一百圓を献金し、太田會長は涙を流して感謝したと言ふことである、希望婦人會の献金募集は來る一月末若しくは二月中旬に一先づ打切つて、井上地方事務所長の手を經て大藏大臣の手元に送達する事になつて居る

支那人向市場
山縣氏が新設

安東の鮮魚菜市場は日支境界地點にありて支那人の商客も相當あつたが、新市場になつて支那人の顧客が大分減つたので市内市場通辻山平行山縣寅吉氏は明年解氷後下出鱈町方面に支那人向きの鮮魚場と活動常設館が建設されるのを待つて、之に附設して支那人向きの魚菜市場を建る計畫にて、近々の內安東警察署並に滿鐵地方事務所に對し了解を求むる筈であると

國境雜聞

新任平北内務部長白石光治郎氏は二十三日午前十一時三十七分着列車にて家族同伴赴任したが驛頭には石川縣知事以下各課長、財務部職員、金融組合關係者等の出迎があつた

◇市内某運送店の六百圓盗難事件は其後安東署司法係の嚴重なる捜査の結果犯人は某方面に逃走せること判明し手配中であるから近く逮捕の模樣である

◇平北官房主事の後任は目下石川知事の下に於て銓衡中であるが官房主席屬田中俊一氏の繰上げ說が專ら行はれて居り又一面理財課長關根雄氏の呼聲も可成りに高く何れ一兩日中に決定を見るであらう

◇旅順戰蹟保存會囑託圓岡鐵長氏は滿蒙社會課並に當地在郷軍人聯合分會の後援にて二十三日午後六時半より山下町安東俱樂部に於て滿洲戰蹟保存講演會を催した（來）聽者多數非常なる盛會であつた

◇滿鐵道場柔道部の納會試合は二十二日山下町道場に於て行はれたが來春の道場開きは一月八日であると

◇安東署沙河鎭派出所勤務川原巡査部長は今回辭任したが當分の間安東縣六番通六丁目三番地に居住すると

◇安東取引所は來る二十八日前場限りを以て本年の納會となし新年初會は一月四日例年の通り行ふ事となつた

◇安東輸出貿易商組合豆粕檢査所主任として來任する事となつてゐた井料勇吉氏は二十四日午前十時五十分着列車にて着任された

◇新義州工業補習學校では二十二三兩日午前十時より午後四時まで公會堂に於て生徒の製作品展覽會を催したが出品數百十數點に達し即賣總額五百五十餘圓あり豫想外の好成績であつた

◇二十三日安東署へ安東在住無名…

哈爾賓

滿鐵吉武氏の遭難模樣判る
廿二日漸く音信到着

ハルビン滿鐵事務所出廻り主任吉武正男氏が滿洲里に於て奇禍に遭ひ交通杜絶のため現在も尚滿洲里にあるが、去月二十八日の發信が石原運輸課長のもとに廿二日到着した、それによると十六日夜滿洲里に着いた處十七日露支交戰し十八、九日激烈となり餘儀なく日本旅館に宿泊、總て田中領事の指揮を仰ぐことになつた、十九日午前九時頃日本旅館の二階で朝食をしてゐた時、砲彈が頭上から落下し破片のため右手を負傷、頭、頸部に輕傷を負ひ幸ひ生命には別條はなかつたが、右手以外は一週間で全快したるも右手は全癒せず宮本醫院で療養中である、廿六日から田中領事のロシヤ側への交渉で着信することが許されたとあり、當時朝食中の…

大石橋

銃劍術の猛競技
一等第四中隊

奉天

一週間に三萬圓
好成績の畜産週間　經濟會支部の活動

石炭檢斤
不足が多い

消費組合問題
近く具體化

國際列車一行懇親會

支那料理屋で大亂鬪

母の會盛況

吉林

闞朝璽氏來吉

撫順

貯金や内地送金例年よりも激增
郵便局廿三日の成績

誘拐犯人逮捕

人事

遼陽

遼陽更生の爲め實業青年團生る
廿五日公會堂で發會式

美しい献金

町の便り

除隊兵
廿七日出發

本溪湖

新署長歡迎宴

甲斐地方係長着任

開原

百餘戶の鮮人虐殺
鬼畜の如き支那兵ども

遼陽實業青年團の綱領

愛慾の窓（199）
戸川貞雄作

新刊紹介